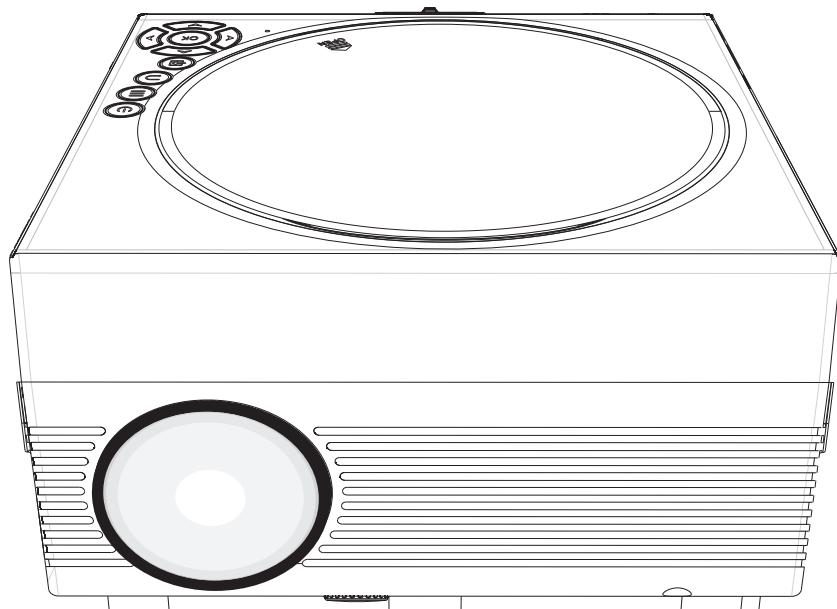


この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

LEDプロジェクター

〈地デジTVチューナー搭載〉
〈DVDディスク再生機能搭載〉

取扱説明書



〈必ずお読みください〉

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。
この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。
本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体／リモコン）	8-9
リモコンについて	10
プロジェクターの準備	
電源の準備	11
投影サイズ／投影距離（フォーカス調整）	11
機器の設置	12
外部機器の接続／入力ソース切換	13
機器の調整（機器設定メニュー）	14
外部メディアについて	15
再生可能ディスク（DVD/CD）	16-17
機能① DVD/CD プレーヤー	
ディスクの再生	18-20
主なリモコン操作／機能	21
DVD モード設定	22-24
機能②-1 地デジテレビ	
B-CAS カードの準備	25
アンテナの準備	26
放送局（CH）の登録	27-28
アンテナ受信レベル	29
基本的な使い方	30-31
電子番組ガイド（EPG）の利用	32
TV モード設定メニュー	33
機能②-2 「録画」の機能や操作	
録画機能について（録画時間の目安）	34
録画用メディアの準備／確認	35
「録画」に関する機能の利用	36-39
機能③ メディアプレーヤーソフト	40-41
リモコンの主なボタン操作	42-43
トラブルシューティング	44-46
製品仕様	47
その他（各種注釈や免責など）	48-49
アフターサービス／保証規定	49-50

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

- （*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。
- （*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
- （*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき

 警告

発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。



内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



設置されるとき

 警告

お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと
火災や感電の原因となる場合があります。



電源プラグは先に本体に接続してからコンセントに接続すること
電源コードは付属されている本機専用のコードを使用すること
接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。



お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと
火災や感電の原因となる場合があります。



機器や付属品の上に物を置かないこと
金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。



ご使用されるとき

 警告

改造・分解・修理などおこなわないこと
火災や感電の原因となる場合があります。
点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。



端子部や通気口などから異物を入れないこと
金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと
感電の原因となる場合があります。



コード類（電源コード、接続コードなど）は
「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」
「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと
コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れについて

 警告

電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと
電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。



設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り 禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
ディスクトレイから内部に手を入れないこと 指を挟みケガの原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
異常なディスク（変形、ひび割れ、キズ、接着剤等による補修）は使用しないこと 機器内部でディスクが高速回転します。機器の故障やケガの原因となる場合があります。	 禁止
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使わない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

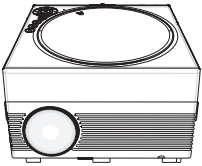
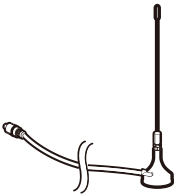
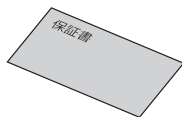
◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、
「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

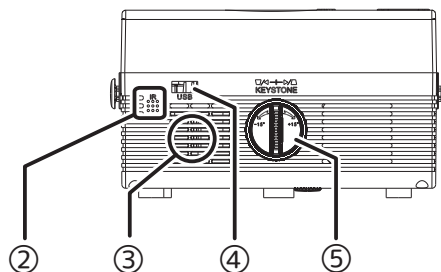
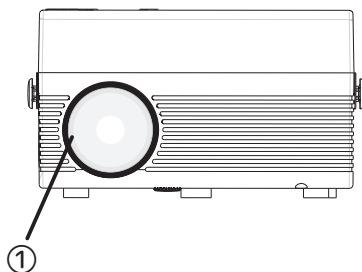
 ● 本体 (レンズカバー付)	 ● リモコン (試用電池付)	 ● 電源接続コード
 ● ミニ三脚スタンド	 ● B-CAS カード	 ● AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)
 ● TV受信用 簡易アンテナ	 ● 取扱説明書 (本書)	 ● 製品保証書

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

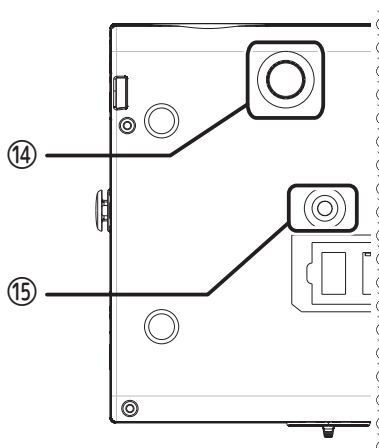
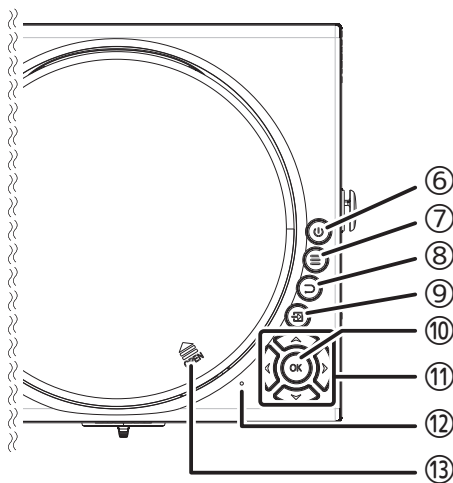
※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称（本体）

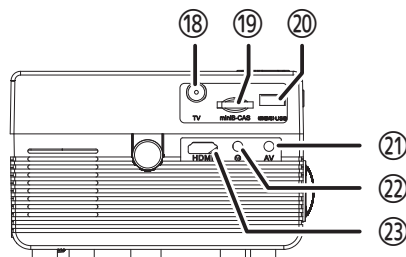
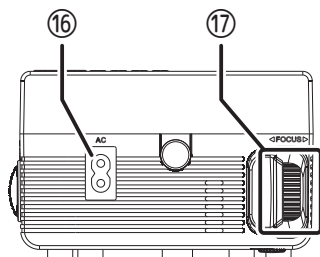
正面・背面



上面・底面



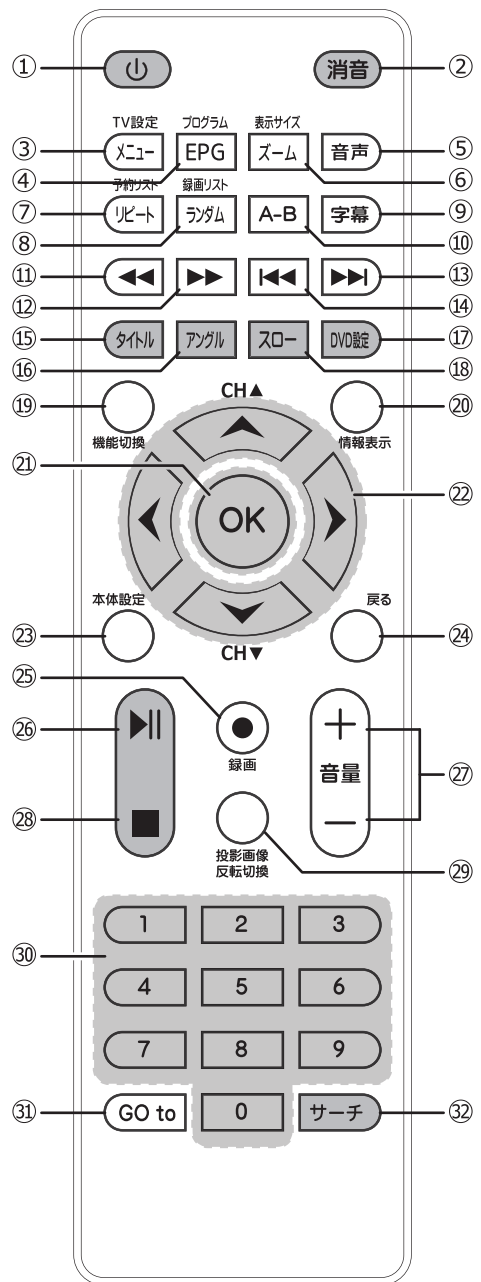
左右側面



- | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------------|
| ① 投影レンズ | ⑨ 機能切換 | ⑰ フォーカス調整ダイヤル |
| ② リモコン受光部 | ⑩ OK(決定) | ⑱ アンテナ入力端子 |
| ③ スピーカー | ⑪ 十字キー | ⑲ miniB-CASスロット |
| ④ USBポート
(メディアプレーヤー用) | ⑫ 電源ランプ | ⑳ USBポート
(地デジTV録画用) |
| ⑤ 台形補正ダイヤル | ⑬ ディスクトレイ/
トレイ開スイッチ | ㉑ AV入力端子 |
| ⑥ 電源 | ⑭ 設置角度調整ネジ | ㉒ イヤホン出力端子 |
| ⑦ 設定 | ⑮ 台座取付け用ネジ穴 | ㉓ HDMI入力端子 |
| ⑧ 戻る | ⑯ 電源入力端子 | |

各部名称 (リモコン)

- ① 電源 : 電源を入れる⇔消す
- ② 消音 : 音を消す⇔出す
- ③ メニュー : ディスクのメニューへ移動
(TV設定) *TVモード時:TV設定メニューを表示
- ④ EPG : 再生するプログラムを設定
(プログラム) *TVモード時:番組ガイド表示
- ⑤ 音声切換 : 音声モードの切り換え
- ⑥ ズーム切換 : ズーム倍率/表示サイズの切換え
(表示サイズ切換)
- ⑦ リpeat設定 : リpeat機能の設定
(予約リスト) *TVモード時:予約リストを表示
- ⑧ ランダム : プログラムをランダム再生
(録画リスト) *TVモード時:録画リストを表示
- ⑨ 字幕切換 : 字幕の切換え
- ⑩ A-Bリピート : A⇔Bリピートの設定
- ⑪・⑫・⑬・⑭ : 早戻し/早送り/前へ/次へ
- ⑮ タイトル : ディスクのタイトルへ移動
- ⑯ アングル : 映像アングルの切換え(対応ディスクのみ)
- ⑰ DVD設定 : DVDモードの設定
- ⑱ スロー : スロー再生の切換え
(1/2⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇐)
- ⑲ 機能切換 : 入力ソースの切換え
- ⑳ 情報表示 *TVモード時:番組情報表示など
- ㉑ OK(決定) : 選択項目や操作の決定/実行
- ㉒ 方向キー : 項目やタグの移動(上下左右)
*TVモード時:CH切換え(上下)
- ㉓ 本体設定 : 本体設定メニューを表示
- ㉔ 戻る : 一つ前の操作に戻る
- ㉕ 録画 *TVモード時:視聴番組を録画
- ㉖ 再生/一時停止: ディスクやデータの再生/一時停止
*TVモード時:タイムシフト機能
- ㉗ 音量調整(+/-)
- ㉘ 停止 : データの再生を停止
- ㉙ 投影画像反転切換: 投影画像を反転表示
- ㉚ 数字キー : 設定/検索時の数字入力
- ㉛ GO to : 再生データの再生スタート地点(時間)を指定
- ㉜ サーチ *TVモード時:接続したアンテナで受信可能なCHをサーチ

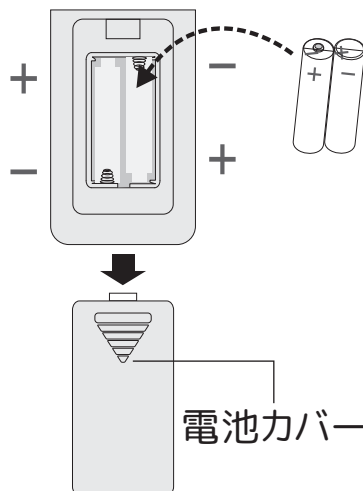


◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は単4型(LR03/AAA)電池×2本です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時にセット(又は付属)された電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の交換方法

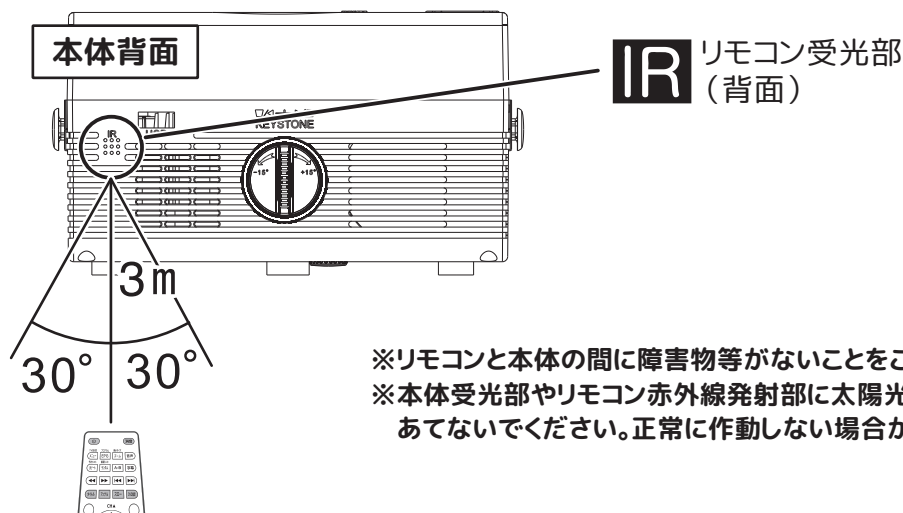
- ① リモコン背面下部の電池カバーを図を参照に取り外す。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池と交換。
※電池の向きに注意!
- ③ 電池カバーを取り付け直す。



※電池交換作業を行う場合、電池セット部のツメ折れやキズなどには十分ご注意ください。

◎リモコンの使用方法

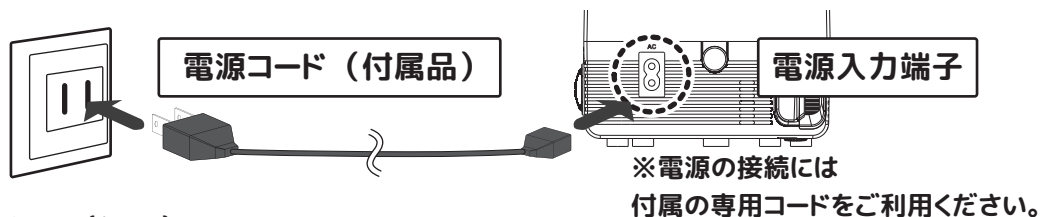
- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。



※リモコンと本体の間に障害物等がないことをご確認ください。
※本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。正常に作動しない場合があります。

◎電源の準備

- 付属の電源コードをを利用して電源コンセントプラグと本機を接続します。



◎電源を入れる（切る）

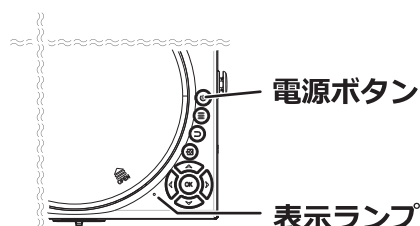
- 電源を接続すると本機に通電されて〈状態表示ランプ〉が点灯します。
本体またはリモコンの「電源」ボタンで電源のオン/オフ操作を行います。

〈状態表示ランプ〉

電源オン：ランプ「緑」点灯

電源オフ：ランプ「赤」点灯（スリープ状態）

※本機に通電されていない場合は消灯します



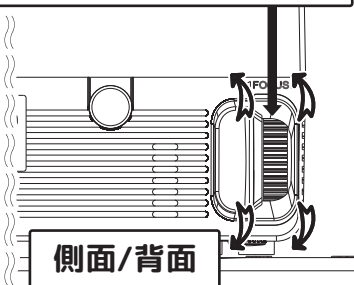
投影サイズ / 投影距離（フォーカス調整）

（参照）アスペクト比 16:9 設定での投影距離 / 投影画像サイズのおおよその目安

投影距離 (mm)	画像対角 (mm)	画像幅 (mm)	画像高 (mm)	投影サイズ (インチ)
1000	762	664	374	30
1500	1270	1107	623	50
3100	2540	2214	1245	100
3600	3048	2657	1494	120
4200	3810	3321	1868	150

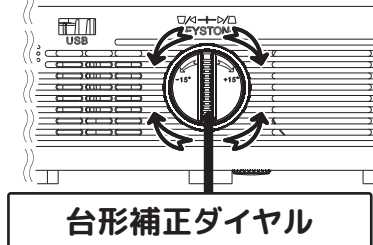
※ 上記数値はおおよその目安です

フォーカス調整ダイヤル



◎フォーカス（焦点）と投影画像の調整 / 補正

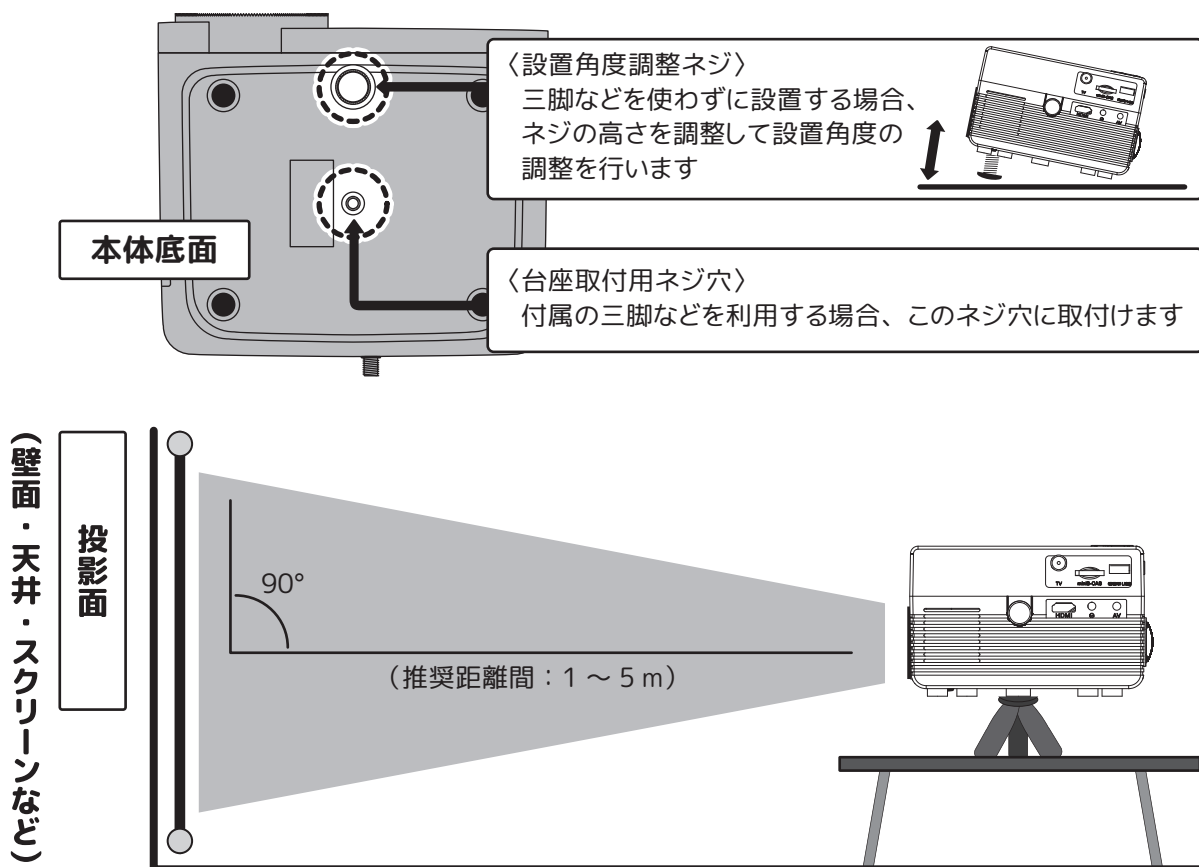
- 投影画像を確認しながらフォーカスを調整します。
本体上面の〈フォーカス調整ダイヤル〉を回転させ文字や画像等がぼやけないように調整してください。
- 投影画像が台形（▮）の場合〈台形補正ダイヤル〉を回転させ、長方形になるように調整してください。



機器の設置

◎機器の設置

- 付属の三脚等を利用して極力レンズと投影面が垂直に近い形で設置します。
電源をオンにするとシステムが起動してレンズ投影が始まります。
初期投影状態（外部機器等を接続していない状態）で投影画像を確認しながら
機器の設置場所 / 角度 / 位置などを調整します。



- （ヒント）・投影面とレンズの角度が 90°に近いほど全体の画像がきれいに投影されます。
- ・画像が台形（▼）で投影される場所では台形補正である程度の調整が可能です。
 - ・レンズから投影面までの距離が離れるほど画像サイズを大きく投影することが可能です。
ただし離れすぎると光源不足やフォーカスが合わなくなるため見えづらくなります。
（推奨距離感：0.8 ～ 3m）（関連ページ：P.11・台形補正 / 投影サイズ）

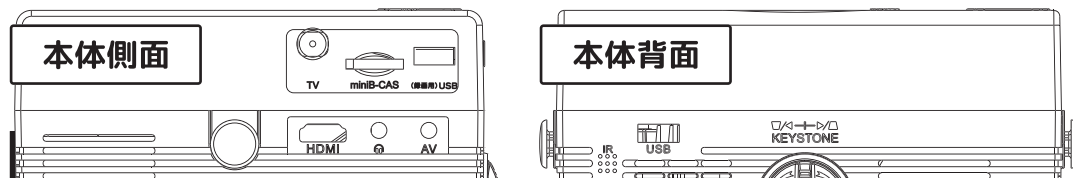
⚠ ご注意（ご確認）ください

- ※機器の設置場所は平らな場所へ設置してください。歪んだ場所などへ設置すると冷却ファンの回転による振動等により、投影画像が乱れる場合があります。
- ※機器の上や近くに物を置かないでください。冷却ファンからの通風を閉ざすと機器内部の温度が上昇して破損や故障の原因となる場合があります。
- ※外部機器との接続（P.13）を行う際は電源プラグを外してから接続してください。

外部機器の接続 / 入力ソース切換

◎外部機器の接続

- データ再生機器（DVDプレーヤー・スマホなど）側の出力に合わせて、付属のAVケーブルや市販のHDMIケーブルなどを利用して本機と接続します。



〈側面上側〉：TV用端子（地デジ番組の視聴や録画を行う際に利用します）

＊アンテナ入力端子 ＊B-CASスロット ＊TV録画用USBポート

〈側面下側〉：HDMI入力端子（DVDプレーヤー等のHDMI出力機器と接続）

イヤホン出力端子（ヘッドホンやスピーカーへの音声出力用端子）

AV入力端子（付属品[AVケーブル]を利用して外部機器と接続）

〈本体背面〉：データ再生用USBポート

入力ソース【USB（メディアプレーヤー）モード】で外部メモリーに保存されたデータを再生（視聴）する際に利用します

（注）・「HDMI 接続ケーブル」「記録メディア（microSD/USB メモリーなど）」は

付属品ではありません。ご利用される場合はその仕様をご確認の上、別途ご用意ください。

（注）・付属品のリモコンは本機操作専用です。外部機器側の設定や操作はできません。

（注）・AV（RCA）接続を行う場合、必ず付属品のAVケーブルをご利用ください。

他の同じ形状の物でも、ピンジャック端子の仕様等が異なり正しく作動しない場合があります。

⚠ ご注意（ご確認）ください

※外部機器との接続を行う際は電源プラグを外してから接続してください。特に記録メディア等を接続する場合、メディアや保存データの破損 / 消失が起こる場合がありますのでご注意ください。

◎入力ソースの切り換え（モード切換）



- 電源オンの状態でリモコン（又は本体）の「機能切換」を押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。

→「▲/▼」でカーソルをご利用されるソース名に移動させ、「決定」を押します。

（ヒント）表示を消す場合、再度「機能切換」を押します。

機器の調整（機器設定メニュー）

〈機器設定メニュー〉から機器の調整を行う

◎ 本体の「設定」(又はリモコン「本体設定」)を押すと〈機器設定メニュー〉を表示します。

(*1) TV モードでは本体「設定」ボタンは〈TV モード設定メニュー (P.33)〉が優先されます。
TV モードで機器設定を行う場合、リモコンで操作してください。

● メニュー表示後のボタン操作

「◀/▶」：項目の切換（映像⇄音声⇄設定）

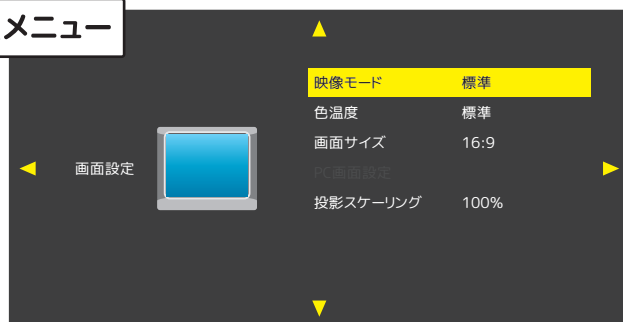
「決定」：選択の実行（又は次の選択肢へ進む）

「▲/▼」：カーソル移動

「本体設定」：一つ前へ戻る

「戻る」：メニューを閉じる

機器設定メニュー



◎ 機器設定メニュー・項目詳細

- 映像：
 - ① 映像モード選択 >> 標準 / ソフト / ユーザー (*2) / ダイナミック
 - ② 色温度 >> 標準 / ウォーム / ユーザー (*2) / クール
 - ③ 画面サイズ（アスペクト比） ※選択肢 (*3) は下記参照
 - ④ 投影スケーリング >> 100 ~ 75%
- 音声：
 - ① 音声設定 >> 標準 / 音楽 / 映画 / スポーツ / ユーザー (*1)
 - ② バランス >> -50 ~ 0 ~ 50
 - ③ 自動音量 >> オン / オフ
 - ④ サラウンドサウンド >> オフ / SRSサラウンド / サラウンド
- 設定：
 - ① 言語設定 >> 日本語 / 英語 / （その他合計 9言語）
 - ② 工場初期化設定 >> 実行しますか？（→はい / いいえ）
 - ③ メニュー表示時間 >> オン / 5秒 ~ 30秒

(*2) 「コントラストや明るさ微調整」「高音や低音の調整」は選択肢を〈ユーザー〉に設定します。

(*3) 画面表示サイズ（アスペクト比）は各モードで設定項目が異なります。

*DVDモード：自動 / 4:3 / 16:9 / ズーム1 / ズーム2 / Panorama

*TVモード：自動 / 4:3 / 16:9 / ズーム1 / ズーム2 / JustScan / Panorama / PointToPoint

*HDMIモード：自動 / 4:3 / 16:9 / ズーム1 / ズーム2 / JustScan / Panorama / PointToPoint

*AVモード：自動 / 4:3 / 16:9 / ズーム1 / ズーム2 / Panorama

*USBモード：自動 / 4:3 / 16:9

外部メディアについて

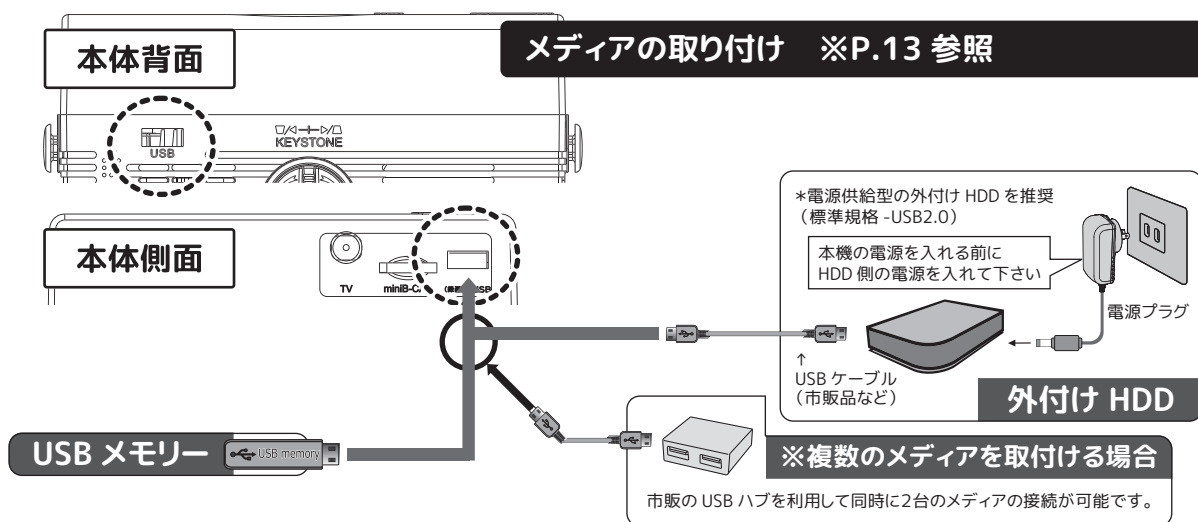
本機でご利用いただけるメディア（メモリー／ディスク）

◎本機では下記仕様の外部メディア（メモリー／ディスク）のご利用が可能です。
別途市販品等のメディア（USBメモリーなど）をご用意いただく際はその製品の仕様をご確認ください。

- USB（Type-A）接続可能なメディア（フラッシュメモリー・外付 HDD※ など）
*標準規格：USB2.0 *推奨容量：～ 500GB
※外付 HDD（ハードディスク）は『電源供給型』のものを推奨

⚠ ファイルシステム形式をご確認ください

※本機でご利用可能なメディアのファイルシステム形式（フォーマット）は【FAT32】又は【NTFS】です。その他の形式（exFAT など）でフォーマットされたメディアは正しく認識されません。
特に大容量のメディアをご用意いただく場合、仕様をご確認ください。
※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。



- （ヒント）
- USB ハブを利用すると同時2台までのメディアを接続できます。
 - メディアをフォーマットする場合、必ず本機と1対1で接続してください。
 - USB ポートに接続するメディアの容量は 500GB までのものを推奨しております。

⚠ 設置するポート（端子）について

※〈USBモード（メディアプレーヤーソフト）〉では【本体背面】のUSB ポートを使用します。
（USBモードではテレビ番組録画データの再生（視聴）はできません。）
※〈テレビモード（録画機能用）〉では【本体側面】のUSBポートを使用します。
（テレビモードでは本機で録画したデータ以外のデータの再生（視聴）はできません。）

（補足）〈テレビモードでのご利用（録画関連 ※P.34）〉と

〈USB/SD モードでのご利用（メディアプレーヤー ※P.40）〉では各モード用ソフトが異なる為、メディアのご利用方法も異なります。詳しくは各関連項目をご確認ください。

◎再生可能なディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVD ビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） ＋ 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応しておりません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CRRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。 DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

（ヒント）ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

◎ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

◎ディスクの取り扱いかた

- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



◎ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

◎初めて本機をご使用されるときは ...

- はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。
(素材: 紙)



※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

◎ディスクの再生 / 主な操作の手順

1. 電源を入れる

本体に正しく通電されている状態で、本体又はリモコンの「電源」ボタンを押します。

2. DVD モードに切り換える

本体又はリモコンの「機能切換」ボタンで入力信号選択画面を表示します。

「方向キー」で【DVD】の項目にカーソルを合わせ、「OK」ボタンを押すと DVD モードに切り換わります。

3. 機器にディスクをセットする

本体のディスクトレイカバー開スイッチを押してディスクカバーを開き、ディスクのラベル面を上に向けてセットします。ディスクをセットしてからカバーを閉じます。

(注) お買い上げ時はトレイ内部に「レンズ保護カバー (紙製)」が付いています。

(注) ディスクの読み込み面は手で触らないでください。

(注) カバーの開閉は丁寧にお取り扱いください。破損や故障の原因となる場合があります。

4. 再生の開始

トレイカバーを閉じると自動で再生がスタートします。

(ヒント) 市販の映画ソフトなどの場合、はじめにソフトのタイトルなどが画面に表示されます。
この場合、リモコンや本体のボタン操作でデータの選択や再生を行ってください。

5. ソフトの操作 (再生 / 一時停止 / 停止など)

ソフトの再生が始まり、タイトル画面などが表示されたら本体又はリモコンの「OK」「方向キー (▲▼◀▶)」「再生 / 一時停止 (▶II)」「停止 (■)」「早送り (▶▶)」などのボタンで各操作を行います。

(注) ソフトの記録状態などにより可能な操作は異なります。

(例) チャプター編集されていないソフトは「次 / 前へ」等の操作はできない
マルチアングルを収録していないソフトは「アングル切換」の操作はできない ... など

6. 音量の調整

本体又はリモコンの「音量 (-/+)」ボタンで調整します。

※リモコンの「消音」ボタンで消音⇔消音解除の操作もできます。

注 : 個人で作成されたディスクや海外のディスク等はディスクによっては時間がかかったり読み込み時に音がしたりします。

デジタル放送を録画・ダビングしたディスクの場合、CPRM 対応ディスクで VR モードで書き込み最後にファイナライズ処理をしたものでないと認識しません。

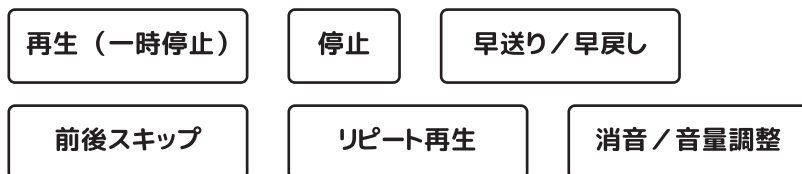
ディスクの種類や相性によっては再生できない場合があります。すべてのディスクの再生を保証するものではありません。

ディスクの再生

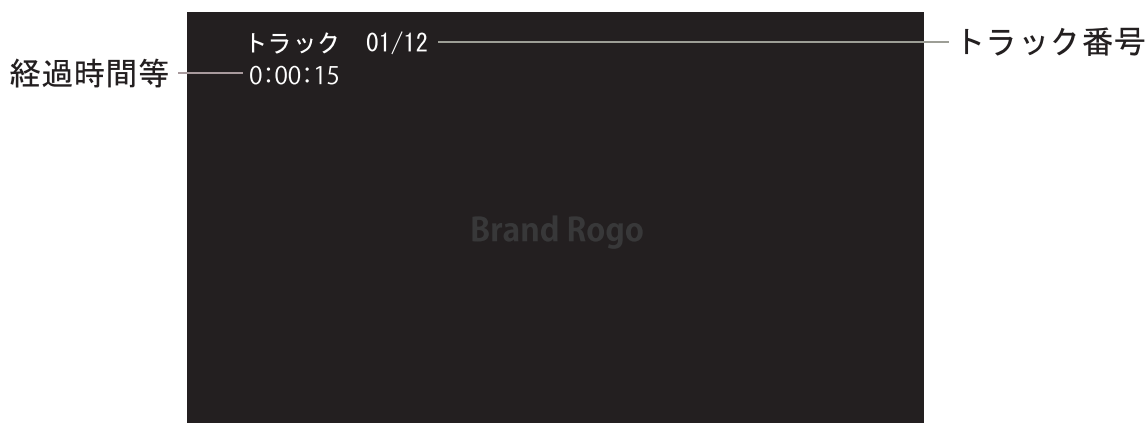
◎ディスクの再生／主な操作の手順

● 音楽 CD の再生

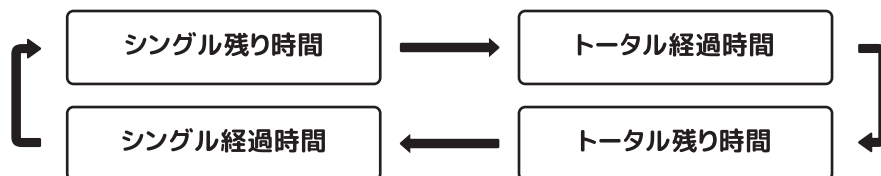
DVD ディスクと同様に CD ディスクをセットしてディスクトレイカバーを閉じると、音楽データの再生が自動的に始まります。音楽 CD ディスクの再生時では、DVD ディスク再生に使用するボタンで以下の操作を行うことができます。



● CD 再生時の画面表示



音楽 CD の再生中は、トラック（収録曲）の再生時間などの情報が画面に表示されます。「表示」ボタンを押すたびに下記の順に画面の表示が切り換わります。



ディスクの再生

◎テレビ番組を録画したディスクの再生

- 本機ではテレビ番組を録画した DVD ディスク（以下【番組録画ディスク】記載）の再生が可能です。（CPRM 対応）但し、本機で読み込み可能な【番組録画ディスク】は以下条件で作成されたディスク（DVD-R/RW）のみとなります。
本機で【番組録画ディスク】を再生する場合、録画する機器側の設定やデータの保存方法やディスクの作成方法などにご注意ください。

- 録画に使用するディスクが DVD（DVD-R や DVD-RW）であること
ブルーレイディスクやウルトラブルーレイディスク（BD/BD-R/UHDBD など）の読み込みできません。
- 録画に使用したディスクが CPRM 対応であること
パソコンなどを使用して CPRM（コピー制御）非対応のディスクに TV 番組などのデータを保存・作成されたディスクの場合、読み込みできない場合があります。
- 録画した機器側で「ディスクのファイナライズ」の処理が行われていること
ファイナライズは録画した機器以外の機器（本機など）でもデータの読み込みができるように、データの終点ポイントを付加した上で以降の「書換え／上書き不可」状態にする処理です。

この処理は 録画した機器（レコーダー等）側でのみ実行できます。またこの処理が未処理の場合、録画した機器以外ではディスク再生はできません。

- データが等倍速で録画されていること
録画する機器側の設定が「倍速」「3倍速」など、データが圧縮して保存されている場合、読み込みできない・正しく表示されないなどの場合があります。
- 録画（ダビング）方式が VR モードで行われていること
録画機器のメーカーや仕様により「AVCRECモード」や「HDVRモード」など VR モード以外の録画方式があります。本機では VR モード以外の方式で録画作成されたディスクの読み込みはできません。

（参考資料）

主な録画機器 製造メーカー	録画機器の名称など	ダビング方式	本機での 再生可否
Panasonic	ブルーレイ DIGA ハイビジョン DIGA	AVCREC VR	× ○
Mitsubishi	REAL ブルーレイ REAL DVD レコーダー	AVCREC VR	× ○
Hitachi	Wooo ブルーレイディスクレコーダー	AVCREC VR	× ○
Toshiba	VARDIA ハイビジョンレコーダー	HDVR VR	× ○
Sony	ブルーレイディスクレコーダー	VR	○
Sharp	AQUOS ブルーレイレコーダー AQUOS ハイビジョンレコーダー		

※上記資料は参考例として多々ある名称の中からピックアップされたものです。
上記以外にもメーカー名・機器名称・ダビング方式名称など複数ございます。

- ※ 上記条件に合った場合でもデータの書込方法・保存方法・データの破損・ディスクの互換性や相性の問題などの理由で読み込みできない場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 「ディスク」「CPRM」「ファイナライズ」についての詳細は本書 P.16 をご参照ください。

主なリモコン操作 / 機能

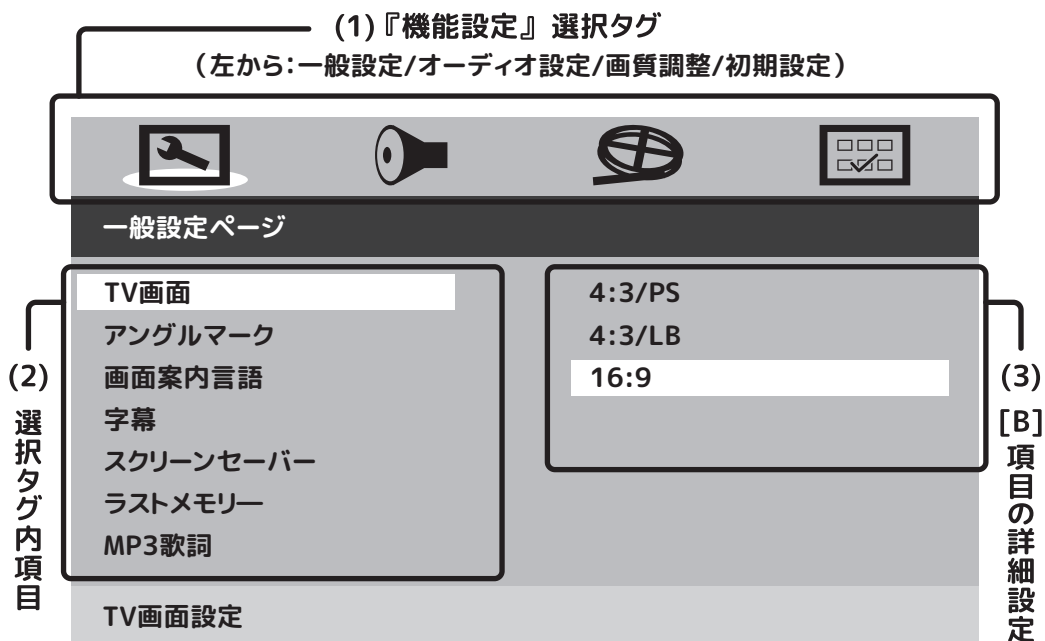
ボタン名称 (リモコン)	機能 / 操作内容
ランダム	プログラムをランダムに再生
情報表示	ソフトの情報を表示 ※「タイトル再生時間」⇒「チャプター再生時間」⇒「チャプター残り時間」⇒「表示なし」↵
アングル	ディスクに収録されている映像アングルの切換え ※マルチアングルの収録ディスクのみ操作可能
字幕	ディスクに収録されている字幕の切換え
リピート	リピート機能を設定（「チャプター」⇒「タイトル」⇒「オール」↵）
タイトル	ディスクのタイトル画面へ移動
メニュー	ディスクのメニュー画面へ移動
A-B	A-B リピートの設定 ※「①: A 地点設定」⇒「②: B 地点設定」⇒「③: A から B 間のリピートを設定」
プログラム	お好みのチャプター・タイトル・トラックを設定して順番に再生 ※数字キーを使用 / <1> と入力する場合は「0」「1」と押す
スロー	スロー再生の速度を切換え ※「1/2」⇒「1/4」⇒「1/8」⇒「1/16」↵
◀◀	早戻し再生の速度を切換え ※「×2」⇒「×4」⇒「×8」⇒「×16」⇒「×32」↵
▶▶	早送り再生の速度を切換え ※「×2」⇒「×4」⇒「×8」⇒「×16」⇒「×32」↵
◀◀	前のチャプターへ移動 ※チャプター編集されているディスクのみ操作可能
▶▶	次のチャプターへ移動 ※チャプター編集されているディスクのみ操作可能
▶	ソフトの再生 / 一時停止
■	再生中のソフトの「仮停止」⇒「完全停止」
DVD 設定	DVD モード時の設定メニューを表示 ※DVD モード設定メニューの詳細は P22～（機能設定）をご参照ください
	※ディスクにより対応していない場合があります。

DVD モード設定

◎設定確認（変更）の手順

- ①【ディスクをセットしていない状態】のDVDモードでリモコン「DVD設定」を押すとDVD設定メニュー（下図）が投影されます。

DVD設定メニュー



- ②「方向キー(▲▼◀▶)」「決定」の各ボタンを利用して
(1)(2)(3)の順に設定詳細の確認や変更を行います。
- ③ 各種設定を終えたら「DVD設定」「戻る」ボタンを押して設定を終了します。

DVD モード設定

■設定項目は以下の通りです

機能設定タグ	設定タグ項目
一般設定	TV画面 アングルマーク 画面案内言語 字幕 スクリーンセーバー ラストメモリー MP3歌詞
オーディオ設定	スピーカー設定

機能設定タグ	設定タグ項目
画質調整	シャープネス 明るさ コントラスト
初期設定	テレビタイプ 音声設定 字幕設定 ディスクメニュー ペアレンタル パスワード変更 デフォルト

【一般設定】

■TV画面(アスペクト比)

(1) 4:3PS (2) 4:3LB (3) 16:9

■アングルマーク

オン / オフ

■画面案内言語

日本語 / 英語 / その他(計6言語)

■字幕

オン / オフ

■スクリーンセーバー

オン / オフ

■ラストメモリー(レジューム)

オン / オフ

■MP3歌詞

オン / オフ

【オーディオ設定】

■ダウンミックス

LT/RT / ステレオ

【画質調整】

■シャープネス

高 / 中 / 低

■明るさ

-16 ~ 00 ~ +16

■コントラスト

-16 ~ 00 ~ +16

DVD モード設定

【初期設定】

■テレビタイプ

(1) PAL (2) AUTO (3) NTSC

■音声設定

日本語/英語/その他(計6言語)

■字幕設定

日本語/英語その他(計6言語) / オフ

■ディスクメニュー

日本語/英語/その他(計6言語)

■ペアレンタル

レベル1 ～ レベル8

■パスワード変更

(1) パスワードモード：オン/オフ

(2) パスワード変更 → パスワード変更画面へ

【初期パスワード：0000】

■デフォルト(設定初期化)

「リセットオン」を実行すると

(ペアレンタル設定)(パスワード)以外の設定を初期化

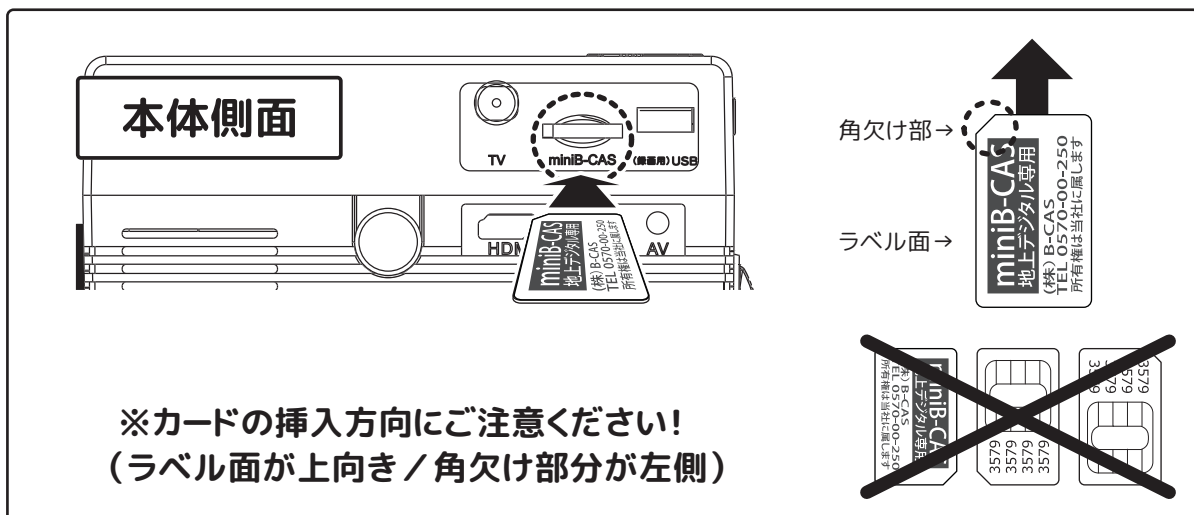
(ご注意)

*パスワードを変更する際は、必ずメモなどの控えをとり、無くさないように大切に保管してください。

※パスワード変更後にカスタマーサポートサービスを依頼される場合、変更後のパスワードが必要となります。

変更後のパスワードを紛失/忘却された場合、無償保証の対象外となります。

■地デジ放送をフルセグサービスで視聴する場合、B-CAS（miniB-CAS）カードの常設が必須です。下図ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て左側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「ラベル面が見える」「角欠け部分が左側」の方向に真っすぐに押し込みます。(奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます)
(注) 誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。
- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
(バネの力で押し戻されてカードが排出されます)
(注) カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



(参照) B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
フルセグ放送サービスをご視聴される場合「B-CAS カード (付属品)」の取付けが必要です。

アンテナの準備

■地デジ放送受信用アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信用アンテナとの接続が必須です。
各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

本機のアンテナ接続用端子の形状は〈F型〉です。

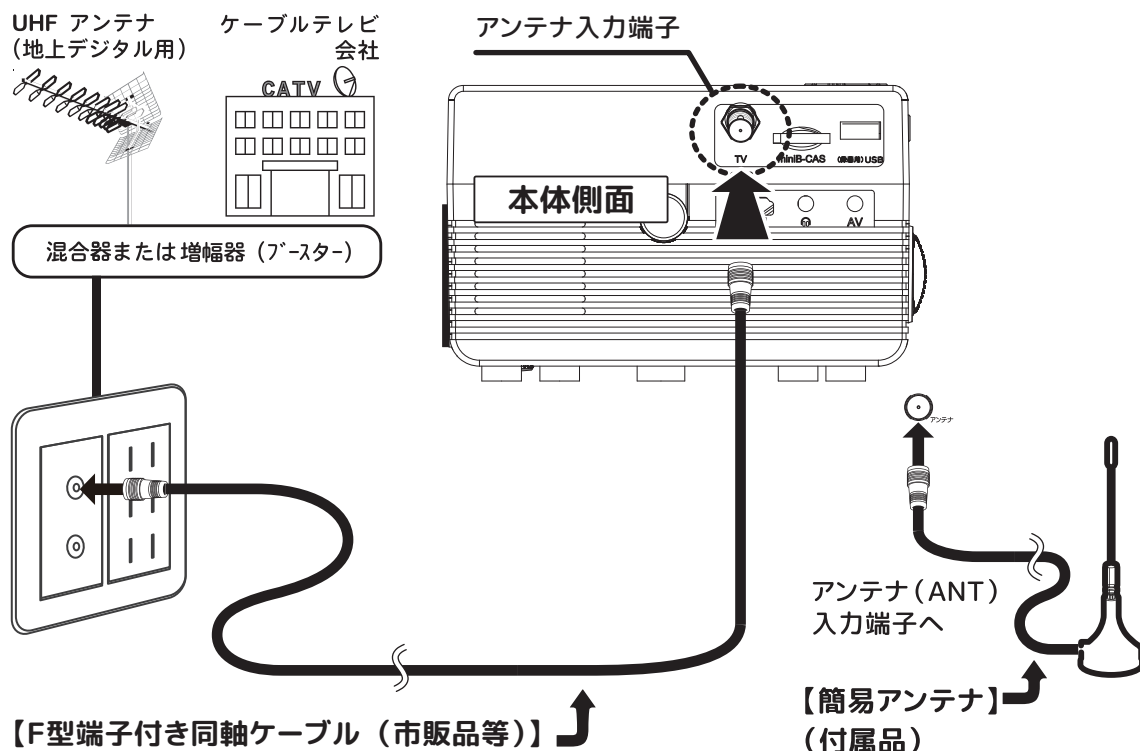
別途電気店などで市販されているアンテナ接続用ケーブルをご用意いただく際は「F型端子（コネクター）付きの同軸ケーブル」をお買い求めください。



【F型端子付き同軸ケーブル（市販品等）】

（ヒント）

ご用意いただく前に予め本機の設置場所を決め、アンテナ供給口から本機までの距離を測ります。
必要な長さのケーブルをご用意ください。



⚠ ご注意（ご確認）ください

※本機は一般的なUHFアンテナとの接続により地デジ放送番組がご視聴いただけます。

CATV（ケーブルテレビ）各社や共聴システムから伝送された放送波をご利用される場合、伝送方式をご確認ください。本機では同一周波数パススルー方式で伝送された地上波放送の各番組をご視聴いただけます。

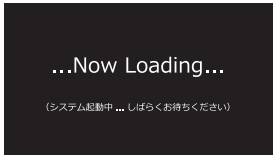
（同一周波数パススルー方式：テレビ局の電波周波数帯域をそのまま伝送される方式）

※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。

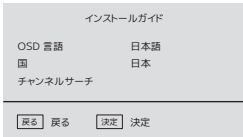
※付属品アンテナでは、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

放送局（CH）の登録

◎お買い上げ初期時やお引っ越し等により設置地域を移動した場合、その場所で視聴ができる放送局の登録が必要です。



〈システム起動中画面〉
画面表示が切り換わるまで
しばらく待ちます



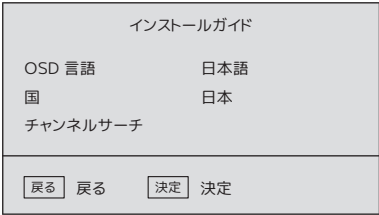
〈インストールガイド〉の場合、
「決定」ボタンを押します。
(CHサーチを開始します)



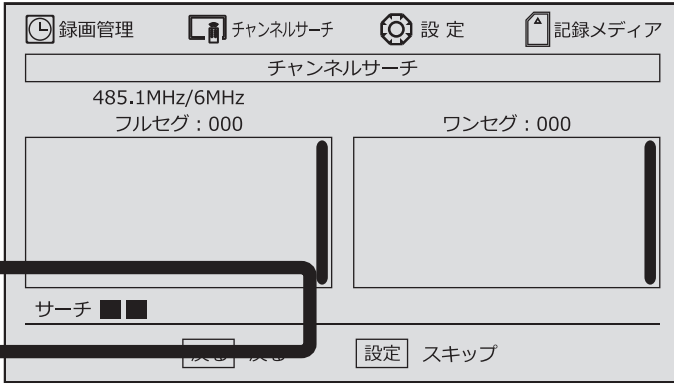
〈CHサーチ〉開始の場合、
スキャン終了までそのまま
お待ちください。

- ① 主電源をオン（入）にして画面表示（上図）を確認します。
- ② 〈インストールガイド〉が表示された場合はガイド項目を確認します。
確認後にリモコン（または本体）の「決定」ボタンを押します。
- ③ 登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が終わるまで暫く待ちます。
- ④ 放送局の検索／登録が終わると、登録された番組放送が始まります。

（参照）CH検索～登録設定の流れ

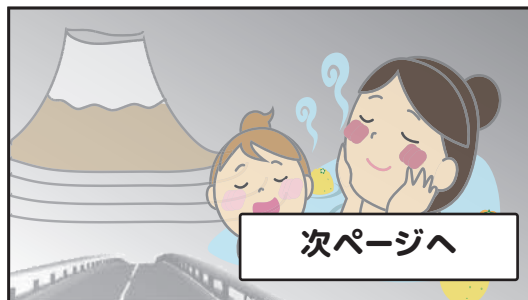
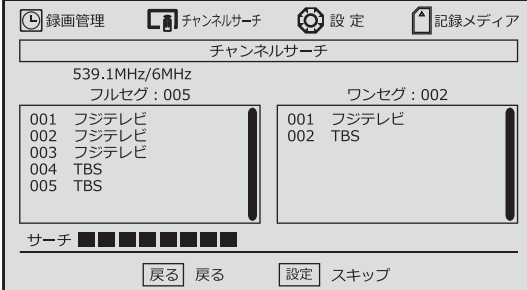


※インストールガイド表示の際は
「決定」ボタンで次へ進みます



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ／ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。



放送局（CH）の登録

◆ 放送局が登録された場合 ◆

※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。

※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。（放送サービスの優先度の設定については P.30 / P.33 をご参照ください）



■ 登録局の確認（チャンネルリスト）

番組放送中に「OK(決定)」を押すと登録放送局のリストが表示されます。リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。登録漏れなどをご確認ください。

※リスト表示中の操作

「◀▶」：ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」：登録局選択タグの移動 「OK(決定)」：視聴チャンネル切換え

◆ 登録が失敗した場合 ◆

※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。

下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

■ テレビ受信に必要な各接続の確認（アンテナ／B-CAS／電源）

■ アンテナの状態の確認（設置場所や方向・CATV等の場合は伝送方法など）

■ アンテナ受信レベルの確認（P.29 参照）

（注）屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。

集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。

インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。

※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。

※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。

※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。

※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

◎アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声が出ない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中にリモコン「情報表示」ボタンを2回押すと下図が表示されます



→ 枠内の受信レベル表示バーをご確認ください。

- ※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。
- ※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ～ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）
- ※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声が出ない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.30 / P.33 をご参照ください）

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。
- ※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。
- ※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声が出ない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。
- ※次の放送は受信（視聴）できません。
〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉
- ※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
- ※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

基本的な使い方

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※以下項目で記載する『ボタン』の名称 (「●●」) は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載いたします。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

電源を入れる/切る (電源オン/オフ操作) ※詳細 P.11 参照

- 機器へ通電されている状態で「電源」ボタンを押します。
電源の状態は〈状態表示ランプ〉でご確認いただけます。

テレビ視聴モードを選ぶ (入力ソースの切換) ※P.13 参照

- 「機能切換」ボタンを押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。
「▲/▼」ボタンでソースを選び「OK」ボタンで切り換えます。
(地デジ放送を視聴する場合は TV を選択します)

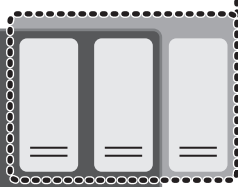


視聴チャンネルの切換 (選局する)

- 「CH+/-」ボタンを押すと登録局の主番号 * 順にチャンネルが切り換ります。
* 〈主番号〉とはCH番号 (3桁) の下1桁の数字が 1 の番号を示します (例: 051 / 081 など)
- 「数字」ボタン (2桁) を押すと指定チャンネル (主番号) に切り換ります。
- 番組視聴中に「決定」ボタンを押すとチャンネルリスト (P.28) が表示されます。
「▲/▼」ボタンでリスト内のCHを選び「決定」ボタンで切り換ります。
※チャンネルリスト表示中の「◀/▶」ボタンは放送サービスの切換 (フルセグ/ワンセグ)

チャンネル番号 (3桁) ...

リモコン
入力番号
(2桁)



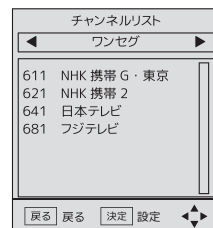
(操作例)

【021】を選局する場合、

- ① 数字ボタン「0」「2」の順に押す
- ② 「CH+/-」で切り換える

【023】を選局する場合、

- ① 「決定」でチャンネルリストを表示
- ② 「▲/▼」で 023 にカーソルを移動
- ③ 「決定」で選局されます



地デジ放送サービス (フルセグ/ワンセグ) の切換え

- チャンネルリスト (P.28) から「◀/▶」で視聴する放送サービス (フルセグ/ワンセグ) を選択し、「▲/▼」で視聴する局にカーソルを移動して「決定」を押すと、選択したサービス/放送局の番組が始まります。
※通常は TV モード設定メニューからデフォルト設定されたサービスが優先されます。
優先設定を変更する場合は TV モード設定メニュー (P.33) から変更します。

基本的な使い方

音量の調節／消音

- 音量の調整：「音量+/-」ボタンで音量を調節します。
- 消音（ミュート）：「消音」ボタンを押すと消音状態（音量0）に切り換えます。
もう一度「消音」を押すと消音操作前の音量で出音します。

字幕／音声の設定切換

- 字幕の設定：「字幕」ボタンで字幕のオン／オフを切り換えます。
 - 音声の設定：「音声」ボタンで音声の設定を切り換えます。
「▲▼◀▶」で（主）（副）（主+副）を選択後、「決定」で確定
選択を確定してから「戻る」で番組視聴に戻ります。
- ※字幕／音声の設定はご視聴される番組によって操作や設定ができない場合があります

視聴番組の情報表示

- 番組をご視聴中に「情報表示」ボタンを1回押すと番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます



- 簡易情報を表示中に、もう一度「情報表示」を押すと受信局の詳細情報が表示されます。
※★項目はワンセグサービス視聴時は「スキャン中」と表示されます



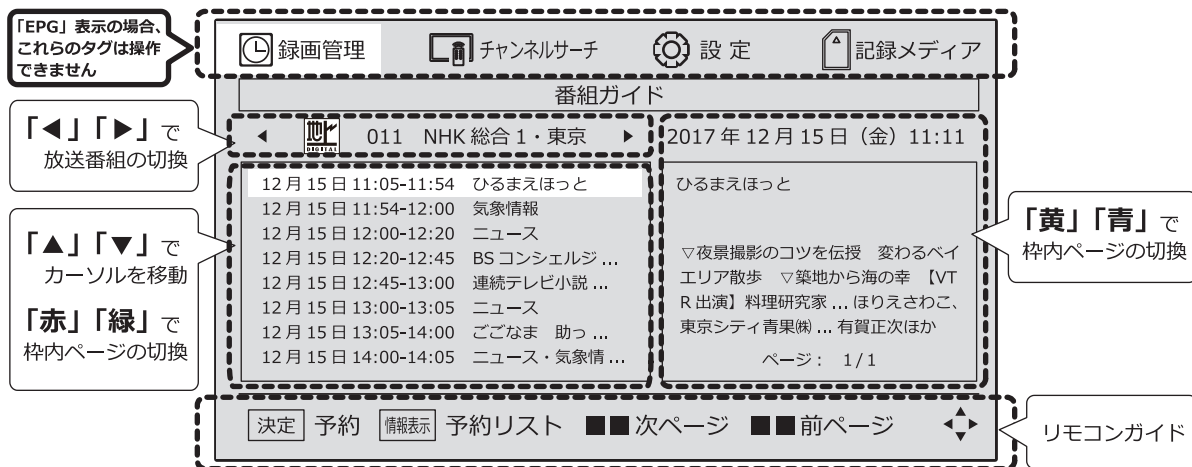
TV モード設定メニュー

TV モードの設定に関する詳細は P.33 をご参照ください。

電子番組ガイド (EPG) の利用

電子番組ガイド (EPG) の見方

- 番組視聴中に「EPG」ボタンを押すと番組ガイドが表示されます。(下図参照)



- 番組ガイド表示時のリモコン操作:

- *[◀][▶]: 視聴 (表示) チャンネルの切換え
- *[決定]: カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]: カーソルで選択した番組の情報ページ (画面右側) を切換え
- *[情報表示]: 録画予約した番組のリストを表示
- *[▲][▼]: 画面左側のカーソル移動
- *[赤][緑]: 画面左側のページを切換え
- *[戻る]: 前の操作に戻る

⚠ ご注意 (ご確認) ください

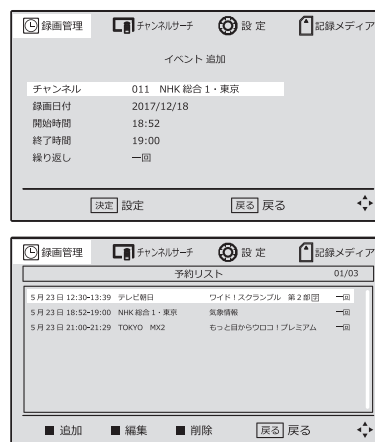
※番組ガイドの取得および画面表示には時間がかかる場合があります。

(特にチャンネルサーチを行った後のガイドの取得や表示には時間がかかる場合があります)

※番組の中止 / 変更 / 延長等により実際の放送内容とは異なる場合があります。

電子番組ガイドから録画を予約する

- ①「EPG」ボタンでガイドを表示します。
- ②「◀/▶」で録画する放送局に切り換えます。
- ③「▲/▼/ 赤 / 緑」で録画を予約する番組にカーソルを合せ「決定」を押すと〈イベント追加〉画面に切り換ります。
- ④ 各表示項目を確認の上、「決定」を押すと予約が設定され、〈予約リスト〉が表示されます。



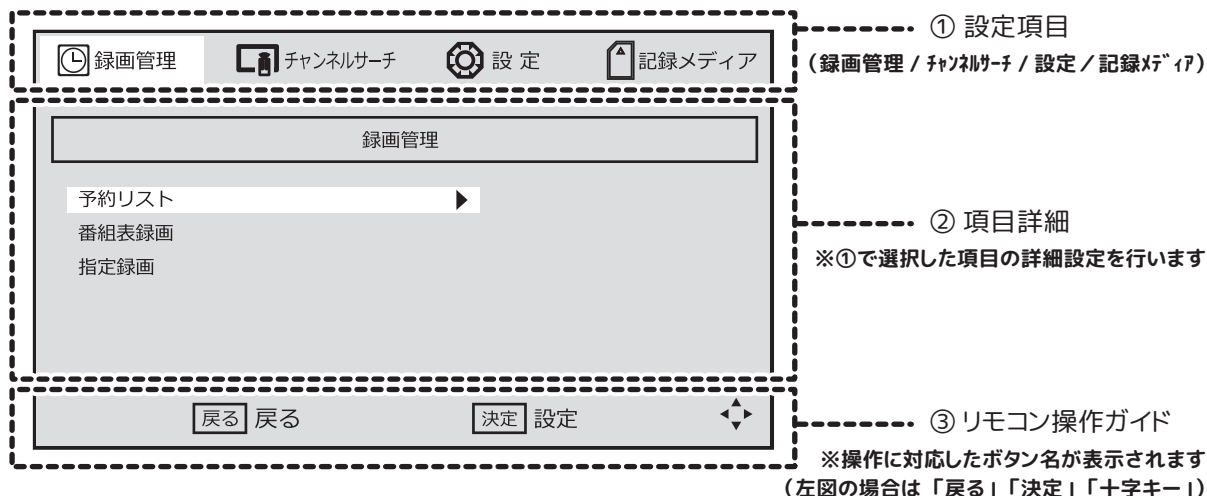
⚠ ご注意 (ご確認) ください

- ※録画機能を利用する場合、本機以外に記録用メディア (市販の USB メモリーなど) が必要です。
- ※番組ガイドから録画予約を設定した後に、放送局の都合により番組放送時間の延長 (中止) されても予約設定の自動変更は行われません。予約リストから手動で予約設定を編集してください。

TV モード設定メニュー

TV モードの設定 / 調整

- TV モード利用中に「設定」ボタンを押すと〈TV モード設定メニュー〉が表示されます。このメニューからTVモードに関する設定の変更や調整を行います。



● TV モード設定のリモコン操作

- * 「▲/▼/◀/▶」：カーソルの選択移動 / 選択したカーソル項目内の移動
- * 「決定」：選択した項目を決定 / 実行
- * 「戻る」：前の操作に戻る
- ※その他「数字キー」「赤 / 緑 / 黄 / 青」「情報表示」など各項目の設定に応じて利用します

TV モード設定メニュー

- 録画管理 (P.34 ~) >> 予約リスト (P.37) 番組表録画 (P.37) 指定録画 (P.36)
- チャンネルサーチ (P.27 ~)
- 設定：① 受信切替 >> 自動 * / ワンセグ / フルセグ
(放送サービス優先度)
② 工場出荷時設定 >> 確認表示後、はい / いいえ
③ デバイス情報 >> システム情報表示
④ ファームウェア更新 (通常時は使用しません)
- 記録メディア：録画用スロットに取付けたメディアを管理します。
① メディア再生 (録画リスト表示) ② メモリー管理 (P.15/35)

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

- ※〈TV モード設定〉で行った設定は基本的にテレビモードに反映されます。ただし、工場出荷時設定を行うと機器の初期化を行うため、機器の設定 (P.14) も初期化されます。

録画機能をご利用いただく前に下記をよくお読みいただき正しくご理解の上でご利用ください。

- 本機は〈シングルチューナー〉搭載機です。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
- 本機には記録用メディア（メモリー／ディスク）は内蔵されておりません。録画に関する機能をご利用される場合、別途市販のメディアをご用意ください。
（本機でご利用可能なメディアの仕様については P.15 をご参照ください）
- 録画用として利用するメディアは、事前に「試し録画」を行い、動作の確認を行ってください。
- 録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）としてメディアに記録されます。
- 録画機能は入力ソースが〈TV（テレビ）モード〉でのみご利用可能です。録画機能ご利用時は入力ソースを変更しないようご注意ください。特に録画予約を設定している場合、他のモード利用中に予約時刻がきてもソースは自動変更されない為、録画できません。
- 録画中に入力ソースを〈TV モード〉以外に切り換えた場合、録画は途中で強制終了します。
- 録画中は他のチャンネルに切り換えられません。
- 何らかの理由（主電源が切れる・受信波が途切れる、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約8日後まで取得できます。番組ガイドで表示されない先の日付を予約する場合、指定録画で日付指定を行ってください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 本機で録画したデータは本機以外の機器で視聴（再生）できません。
- コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを録画（記録）することはできません。録画は本機で受信したテレビ放送番組のみ可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは行わないでください。
- 故障などの理由で本機を修理（交換）した場合、以前記録したデータは視聴できなくなる場合がありますので予めご了承ください。
- 本機で録画したデータは、〈個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲〉内でお楽しみいただく以外には、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。また、同範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変を行ったりインターネットなどで送信や掲示を行うことは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利の侵害となりますのでご注意ください。
 - ・ 録画した番組を自身のホームページや SNS 等に掲載する／メールなどで他人に送る
 - ・ 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反した場合、刑事処罰を受ける場合もあります。自己責任のもとでご利用ください。（著作権法違反により生じた損害などに関し当社は一切の責任を負いません）

容量と録画時間の目安 ※放送番組のデータ量などにより変化します

フルセグ 録画	番組データ1秒あたり 約 1.70MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 10 分間録画 空き容量 15GB のメディアでは、約 2.5 時間分の録画が可能
ワンセグ 録画	番組データ1秒あたり 約 0.04MB の場合 ≡ 容量 1GB あたり約 7 時間録画 空き容量 15GB のメディアでは、約 100 時間分（4日分）の録画が可能

録画用メディアの準備 / 確認

- ◎録画に関する機能をご利用いただく場合、別途データ記録用メディア（USB メモリーや HDD など）が必要です。ご利用可能なメディアの仕様や取り付け方法は、本書 P.15 〈外部メディアについて〉をご確認ください。

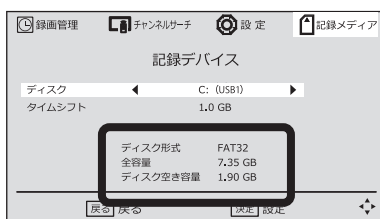
録画用メディアの設定 / 確認 / フォーマット

◎〈録画用スロット〉に取付けたメディアの状態の確認やフォーマットの操作方法

- ①「設定」ボタンを押して設定メニューを表示します。
- ②「◀/▶」でカーソルを〈記録メディア〉に合せてます。
- ③「▲/▼」でカーソルを〈メモリー管理〉に合せて「決定」を押します。
- ④「▲/▼」で〈記録デバイス〉〈フォーマット〉を選択して「決定」を押します。



④-1：〈記録デバイス〉を選択してメディアの設定や状態を確認する

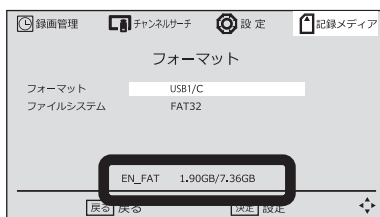


1. ディスク項目で録画用として利用するメディアを確認（複数メディアを接続している場合は「◀/▶」で選択）
2. 太枠部分に表示されたメディアの状態を確認する
3. 「決定」で録画用のディスクを設定します

（ヒント）＊〈記録デバイス〉画面内のタイムシフトについては P.38 ～をご参照ください。

＊メディアが正しく認識されていない場合、「太枠部分の表示が実際の仕様と表示が違う」「メモリーデバイスがありません」などと表示されます。

④-2：〈フォーマット〉を選択してメディアをフォーマットする



1. フォーマットを行うメディアを確認（複数メディアを接続している場合は「◀/▶」で選択）
2. 太枠部分に表示されたメディアの状態を確認する
3. 「決定」を押すと最終確認が表示されます（確認表示後「決定」：実行／「戻る」キャンセル）

⚠ 設置するポート（端子）について

※〈テレビモード（録画機能用）〉では側面 USB ポートのみご利用が可能です。

背面USBポートにメディアを取付けても録画機能はご利用いただけませんのでご注意ください。

「録画」に関する機能の利用

録画の設定の優先度

【予約】録画



【ダイレクト】録画

※タイムシフト機能（P.38）を含む

- 〈予約録画〉は日時指定録画および番組表録画で予約設定を行ったものを指します。予約設定した日時や番組は〈予約リスト〉から確認や編集が可能です。

（ヒント）予約録画を設定すると、その予約が最優先の設定となります。設定した日時になると、「ダイレクト録画」での録画中やタイムシフト機能の利用中でも、自動的に予約した番組に切り換り、予約録画が始まります。

※但し録画用メディアの空き容量が無い（又は少ない）場合は録画できませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する 《ダイレクト録画》

- ① 番組視聴中に「録画」ボタンを押します。
- ② 中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示され、システム起動後に録画が始まります。
- ③ 録画を停止する場合「設定」または「停止」を押します。



- （ヒント）・録画用メディアの空き容量が足りない場合、
「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画できません
・録画が始まると、画面左上に【録画中】と点滅表示されます。

日時を指定して録画の予約を設定する 《日時指定録画》

- ① 「TV設定」ボタンを押して〈TV 設定メニュー（P.33）〉を画面に表示します。
- ② 「▲/▼/◀/▶」を利用して上段のカーソルを〈録画管理〉に下段のカーソルを〈指定録画〉に合せてから「決定」を押します。（イベント追加へ移行）
- ③ 「▲/▼/◀/▶/ 数字」を利用して録画するチャンネルや日時を入力します。
入力を確認後「決定」を押すと予約が確定され、〈予約リスト〉が表示されます。



- （ヒント）●番組視聴に戻る場合は「戻る」 ●続けて別の予約を行う場合は「赤」
●予約リスト上の予約を編集する場合はカーソルを移動させてから「緑」
●予約リスト上の予約を削除する場合はカーソルを移動させてから「青」

「録画」に関する機能の利用

番組ガイドから録画の予約を設定する 《番組表録画》

- ① 番組視聴中に「EPG」ボタンを押します。
- ② 「▲/▼/◀/▶/赤/黄」で予約する番組名にカーソルを合せてから「決定」を押します。（イベント追加へ移行）
- ③ 表示を確認後「決定」を押すと予約が確定され〈予約リスト〉が表示されます。

（ヒント）〈設定メニュー〉→〈録画管理〉→〈番組表録画〉から同表示や設定が可能です。



⚠️ ご注意（ご確認）ください

※番組ガイドから予約を設定した後に、放送時間の延長や中止などが起こった場合、本機では自動的に録画時間の延長や予約の中止などは行われませんので予めご了承ください。

（例）

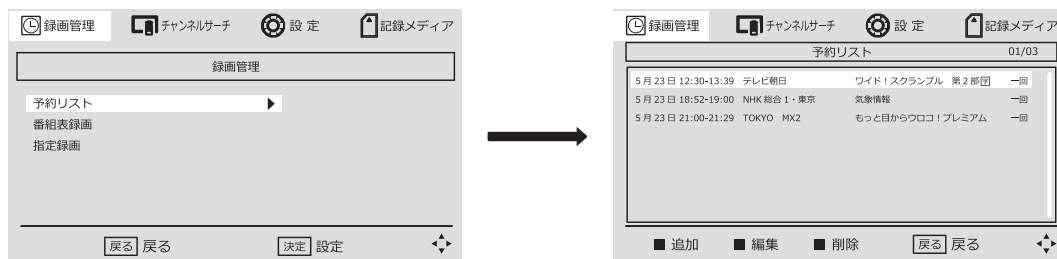
「〇〇放送局の（A）番組（※放送予定 10:00～11:00）」を番組ガイドから予約を設定した
→（A）の直前の番組（B）が急遽 30 分延長となり、（A）は 10:30 から繰り下げ放送となった

上記例の場合は（B）30 分 + （A）30 分となり、（A）の残り 30 分は録画されません。
本機では〈予約リスト〉の通りの録画（〇〇放送局の放送を 10:00～11:00）となります。

設定した予約の確認や編集 《予約リスト》

■ 予約リストを表示する

- ① 「EPG」→「情報表示」
- ② 「設定」→〈録画管理〉→〈予約リスト〉



■ 予約リストから確認や編集を行う（主なボタン操作）

- 「赤」：予約リスト外の予約設定の追加
- 「▲/▼」：カーソル移動
- 「緑」：カーソル選択した予約設定を編集
- 「戻る」：一つ前の画面に戻る
- 「青」：カーソル選択した予約設定を削除

「録画」に関する機能の利用

〈タイムシフト〉を利用する

◎本機には録画関連の付加機能として〈タイムシフト〉機能があります。

- 番組視聴中に「▶II(再生/一時停止)」を一度押すと、
「画面表示は放送を一時停止」「押した場面からメディアに録画」を同時に行います。
→この状態で「▶II」を再度押すと、メディア側の再生に切り換わり、
「一時停止した放送の続きからの視聴」と感じられる便利機能です。

こんな場合に
とても便利な
機能です!!

- *好きな番組を視聴中に「ちょっと用足しに行かないと...」
- *ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で〜す!？」

「▶II(再生/一時停止)」ボタンを押して機能スタート!

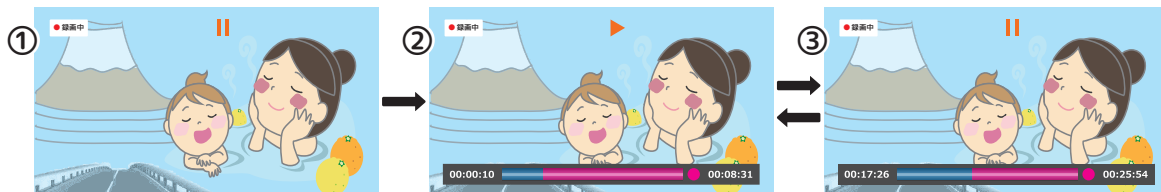
●当機能のご利用では「▶II」「■(停止)」「OK(決定)」のボタンを使用します。

◎〈タイムシフト〉利用前の設定準備

※録画用メディアの容量を設定します。

- ①「設定」→〈記録メディア〉→〈メモリー管理〉→〈記録デバイス〉→〈タイムシフト〉
- ②「◀/▶」ボタンでタイムシフト機能に割り当てるメディアの容量を選択します。
(0.5GB / 1.0GB / 1.5GB / 2.0GB / 2.5GB / 3.0GB / 3.5GB / 4.0GB から選択)

■番組視聴中に「▶II」ボタンを押すと...



- ① 番組視聴中に
ボタンを押すと ...
 - ・一時停止状態になります
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・中央右に『一時停止マーク』が表示されます
- ② ①の状態、
ボタンを押すと ...
 - ・一時停止箇所から再生が始まります
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・中央右に『再生マーク』が表示されます
 - ・下部に『P/R ステータスバー (P.39)』が表示されます
- ③ ②の状態、
ボタンを押すと ...
 - ・データ再生を一時停止します
 - ・左上に『録画中』が表示されます
 - ・中央右に『一時停止マーク』が表示されます
 - ・下部に『P/R ステータスバー (P.39)』が表示されます

■〈タイムシフト〉機能を終了する場合は「■」→「OK」ボタンの順に押します。

「録画」に関する機能の利用

P/R(再生/録画) ステータスバー 〈タイムシフト機能〉



【トータル時間表示】 TS録画機能スタートからの経過時間を表示します。

【一時停止/再生時間表示】

機能スタートから何秒（分/時間）後に一時停止したか（又は再生しているか）の時間を表示します。

【使用容量表示バー】

TS機能に割り当てたメディア容量の中で、使用中の領域（赤）と空き領域（青）をバーで表示します。

（ヒント）例えば一時停止状態でそのまま放置した場合（赤）が増えて（青）が減っていきます。
空き領域（青）が無くなるとタイムシフト録画は停止します。

録画データの再生や削除 《録画リスト》

■ 録画リストを表示する : 「録画リスト」 ボタンを押します。

■ 録画リストから確認や削除を行う（主なボタン操作）

「▲/▼」: カーソル移動

「決定」: カーソル選択したデータを再生

「タイムシフト」: 再生データの一時停止→再生

「停止」: 再生データの停止

「◀◀/▶▶」: 早戻し/早送り

(×2→×4→×8→×16→×32→解除←)

「|◀◀/▶▶|」: 前/次のデータへスキップ移動

「設定」: 一つ上のフォルダへ移動

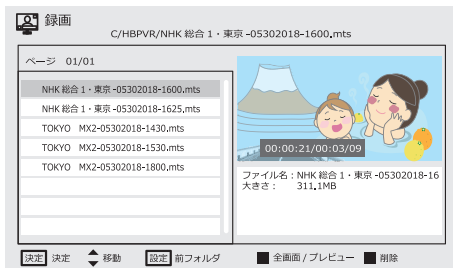
「戻る」: 番組視聴に戻る

「赤」: 画面サイズの切替（全画面⇄プレビュー表示） 「緑」: コマ送り再生

「青」: データの再生開始時間の設定（Go to time 機能※）

※ Go To Time 機能: 録画データのスタート時間を指定して移動する機能です

（例）録画時間 1 時間のデータで、「40 分 10 秒後」にスタート時間を指定して移動



録画データの削除

■ 録画リスト内の削除するデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。

※「黄」を押すとデータ名の左側に ☒ マークが付きます

→ 「決定」を押すと削除するかどうかの確認が表示されます（決定/戻る）

→ 決定を選択して再度「決定」を押すとデータが削除されます

※一度削除したデータを復元することはできません。削除する前にデータの確認を行ってください。

◎外部メディア（USBフラッシュメモリーやHDDなど）に保存されたデータをパソコンなどを介さずに本機で直接ご視聴いただけるソフトが搭載されています。

⚠ メディアに保存されたファイルの保存形式

■当機能でご視聴いただけるデータのファイル保存形式は下記の通りです。

【動画】：MP4(.mp4) / MPEG-PS(.mpg) / WMV(.wmv) / AVI(.avi)

【音楽】：MP3(.mp3) / WMA(.wma) / WAV(.wav)

【静止画】：JPEG(.jpg) / BMP(.bmp) 【テキスト】：テキスト(.txt)

※上記形式で保存されたデータでも高画質（高解像度）の物や圧縮率・コーデック不一致などにより正しく読み込めず「映像が出ない」「音が出ない（途切れる）」などが起こる場合があります。
※ソフト仕様によりメディアに保存された順序で再生されない場合があります。

⚠ 外部メディアについて

※本機でご利用いただける外部メディアの仕様等につきましては詳細は本書 P.15 をご確認ください。
※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

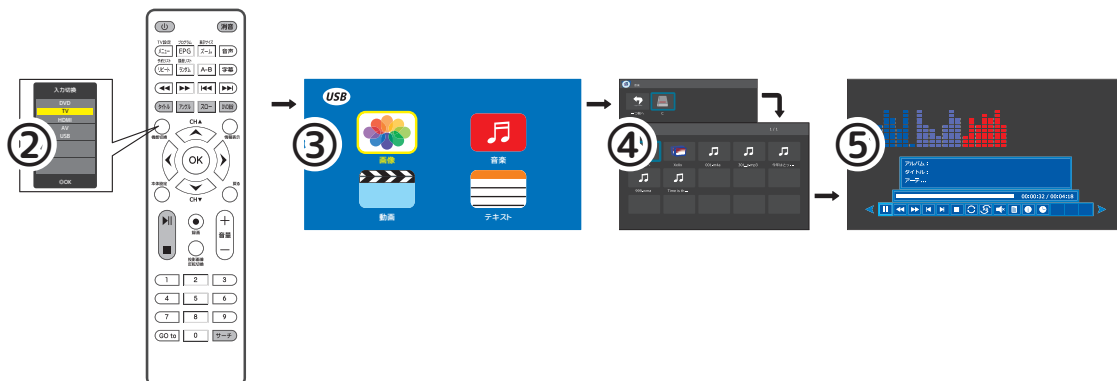
USBモードを選ぶ（入力ソースの切替）※P.13 参照

● 当機能のご利用時は〈モード切替タグ〉から〈USB〉モードを選択します。

データの再生

◎ データの再生

- ① データが保存された外部メディアを〈USB ポート(背面部)〉に取付けます。
- ② 入力ソースを〈USB モード〉に切り換えます。 ※参照：入力ソース切替 (P.13)
- ③ 視聴するジャンルを選択して「決定」を押すとメディア選択項目に進みます。
- ④ メディアを選択して「決定」を押すと保存データの一覧が表示されます。
- ⑤ 視聴するデータ名を選択して「決定」を押すとデータ再生が始まります。



メディアプレーヤーソフトの操作

◎メディアプレーヤーソフトの各ジャンルの操作方法です。

■ 静止画ファイル再生



● データ再生中に「▲/▼」を押すと〈操作ガイドバー〉が表示されます。

- | | | |
|--|--|-------------------|
| ▶(II) 再生 / 一時停止「タイムシフト」 | ◀◀ 前のデータへ「I◀◀」 | ▶▶ 次のデータへ「▶▶I」 |
| ■ 再生停止「■」 | 🔄 リピート設定「リピート」(無 / ファイルリピート / ALLリピート) | |
| 🔀 ランダムリピート | 🎵 音楽設定 (静止画再生中に音楽を流す場合の設定) | |
| 📖 プレイリスト表示 | ℹ️ インフォメーション (再生中データの情報) | |
| 🔄 90°右回転 | 🔄 90°左回転 | 🔍 拡大ズーム (最大倍率 x8) |
| 🔍 縮小ズーム (最小倍率 x1/4) | 📏 MoveView (拡大時の画像移動) | |
| ⚙️ 再生方法設定 (標準 / ランダム / ブロック / 対角 / ワイプ / スライド / ぼかし) | | |

■ 音楽ファイル再生



● データ再生中に「▲/▼」を押すと〈操作ガイドバー〉が表示されます。

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------|
| ▶(II) 再生 / 一時停止「タイムシフト」 | ◀◀ 早戻し再生「◀◀」 | ▶▶ 早送り再生「▶▶」 |
| ◀◀ 前のデータへ「I◀◀」 | (早戻し / 早送り倍率: x2 / x4 / x8 / x16) | |
| ▶▶ 次のデータへ「▶▶I」 | ■ 再生停止「■」 | |
| 🔄 リピート設定「リピート」(無 / ファイルリピート / ALLリピート) | | |
| 🔄 AtoB リピート: A 地点から地点 B までの間をリピート再生させる設定
(セット無 → 「決定」で A 地点をセット → 「決定」で B 地点をセットして設定完了 → 再度「決定」でセット無) | | |
| 🔀 ランダムリピート | 🔇 ミュート「消音」 | 📖 プレイリスト表示 |
| ℹ️ インフォメーション (再生中データの情報) | 🕒 データの再生スタート時間を設定 | |

■ 動画ファイル再生

● リモコンボタン操作は以下の通りです。

- | | |
|---------------------------|---|
| タイムシフト
▶(II) 再生 / 一時停止 | 早送り
▶▶ 早送り再生 (ボタンを押すごとに: x2 / x4 / x8 / x16 / x32) |
| 停止 戻る
■ 再生停止 | 早戻し
◀◀ 早戻し再生 (ボタンを押すごとに: x2 / x4 / x8 / x16 / x32) |
| 前へ
◀◀ 前のデータへ | 次へ
▶▶ 次のデータへ |
| 設定
⚙️ | |
- ※動画の表示サイズを変更する場合は機器設定メニュー (P.14) から行います。

■ テキストファイル再生

● データ再生中に「◀/▶」を押してデータのページを送ります。

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※メディアプレーヤーソフトに関するページに記載されている画像やイラストは機能等の説明のために記載したイメージデータです。機器及び搭載ソフトの改良やバージョン変更等により、実際に表示投影されるデザインとは異なる場合がありますので予めご了承ください。

リモコンの主なボタン操作

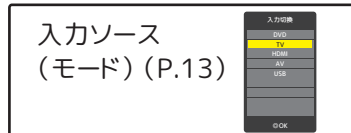
(テレビモード)



テレビモード 設定メニュー (P.33)



録画リスト表示 (P.39)



入力ソース (モード) (P.13)

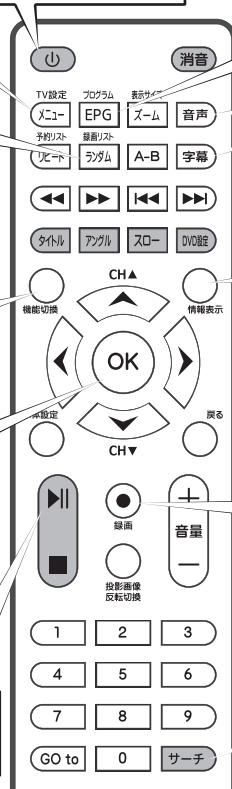


登録CHの確認 (P.28)
設定の実行

タイムシフト (P.38)
データ再生 / 一時停止

DTV モード利用時の 主なリモコンボタン操作

電源切替 (P.11)
(オン⇄オフ)

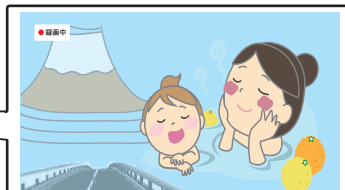


番組ガイド (P.32)

字幕設定の切替 (P.31)
音声設定の切替 (P.31)



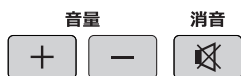
放送局の情報など (P.29)



ダイレクト録画 (P.36)



放送局の登録 (P.27)



音量の調整 / 消音



チャンネル選局
カーソル移動 ... など



番組ガイド / 録画リスト / その他の操作など
(使用する場合、画面上に「ボタンの色」を表示)



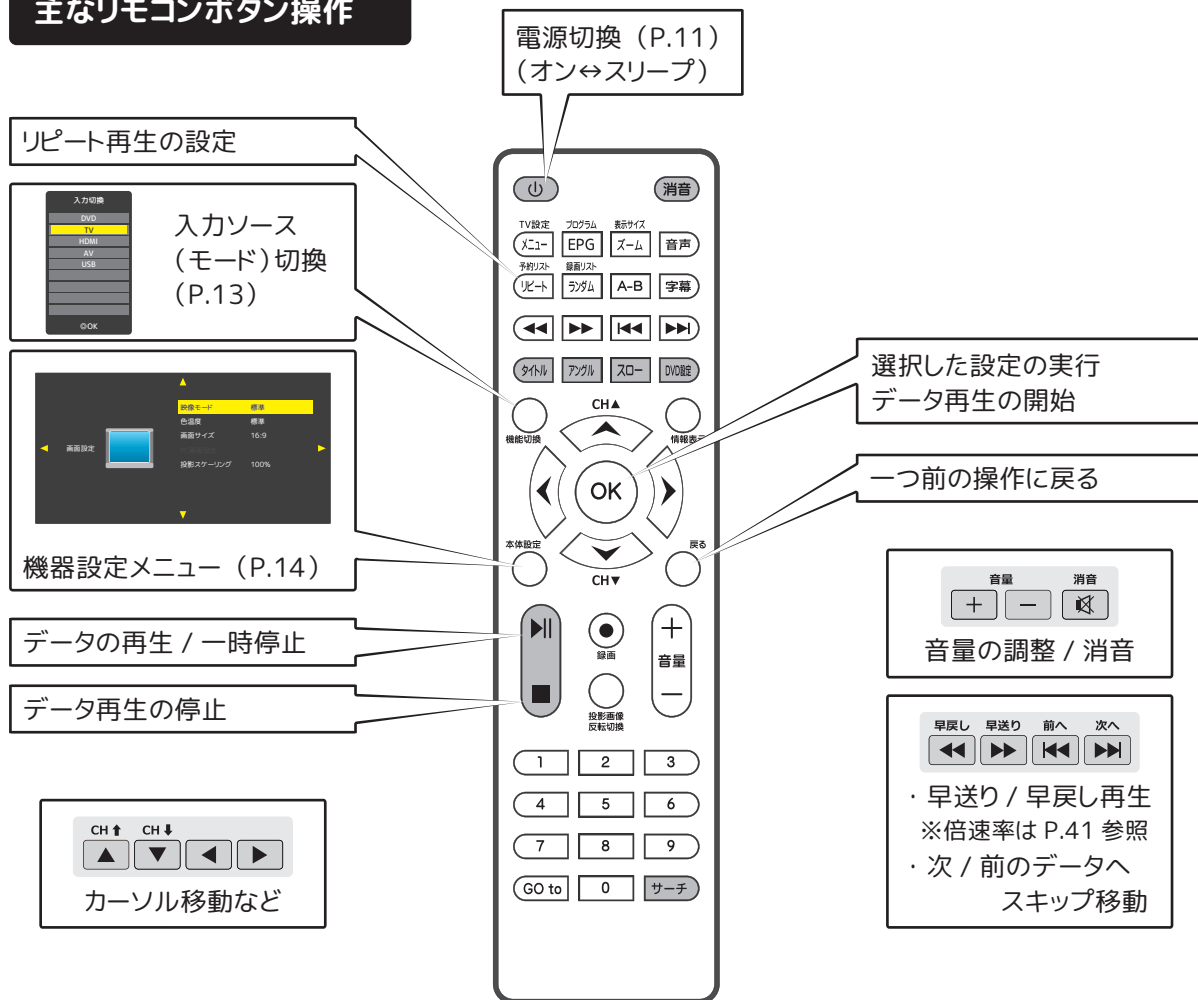
録画リスト (データ) の操作では上記ボタンを主に利用します

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※〈テレビ〉モードで地デジ放送番組をご視聴される場合、アンテナや B-CAS の準備や放送局の登録などが必要です。本書 P.25 ~ P.28 を参照に正しく設定を行ってください。

※テレビ番組の録画機能をご利用される場合、別途記録用メディアが必要です。ご利用可能なメディアの仕様などにつきましては本書 P.15 をご参照ください。

外部入力モード利用時の 主なリモコンボタン操作



⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※〈AV〉〈HDMI〉の各モードでは本機は外部機器からの入力ソースの投影モニターとして作動します。
本機リモコン操作で外部機器側を操作することはできません。

※〈USBモード (メディアプレーヤーソフト)〉のご利用には以下が必須です。

- ①『本機以外に《本機で読み込み可能なデータが保存された外部メディア》のご用意があること』
 - ②『①のメディアが本機端子〈外部データ再生用 USBポート〉に正しく接続されていること』
- 詳しくは本書 P.15~をよくお読みください。

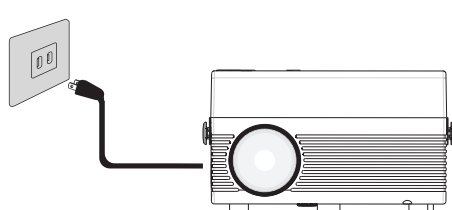
※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

■「電源が入らない」「投影されない」などの場合

〈電源 (P.11)〉〈外部接続 (P.13)〉〈テレビの設定 (P.25 ~)〉をご確認ください

- ・「コンセント」「電源アダプター」「本体」はそれぞれ正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?
- ・充電機でご利用される場合、電池の残量は足りていますか?



- ・「アンテナ」は正しく接続されていますか?
- ・「コード部分や各接続箇所 (端子部分) の断線・破損・汚れ」等はありませんか?
- ・「アンテナ」は正しく放送波を受信できていますか? また受信レベルが不足していませんか?

■このような場合は故障ではありません

※キャビネットなどから「ピシッ」というような軋み音がする場合があります。これは設置場所の温度変化によりキャビネットの伸縮が起きた時に発生する音です。液晶画面部分やスピーカーの出力等に異常がなければ機器のご利用にあたり問題はありません。

※本機電源が待機 (スリープ) 状態の時、機器内部から「カチッ」という音がする場合があります。これは番組情報取得などを行う際に機器内部が動作した時で発生する音です。

内部部品製造時における構造上の仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

※液晶パネルにはごくわずかな画素欠けや常時点灯画素がある場合があります。

これは液晶パネル製造時の特性における仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

■よくあるお問合せ ■

テレビ番組のご視聴 (受信) について

「特定のチャンネルが視聴できないのは故障ですか?」 などのお問合せをいただくことがあります。テレビ番組をご視聴いただくには下記 ① / ② の条件が整うことが必須条件です。

条件①: 「本機に繋ぐアンテナが電波 (信号) を正しく受信できる場所に設置してある」

条件②: 「本機に繋いだアンテナが電波を正しく伝送しつづける」

ご準備いただいたアンテナ (P.26) と接続し、本機に放送局の登録 (P.27) を行った際に、1局でも放送局が登録された場合、本機側 (チューナーや主要基盤等) には故障はありません。

アンテナ側が原因である場合がありますので、以下のご確認をお願いいたします。

確認①: 「アンテナの設置場所・方向がその地域に見合った位置であるかどうか」

確認②: 「アンテナの電波受信力が不足 (または過多) ではないか」

(この場合、ブースターや減衰器が必要になる場合があります)

※アンテナの調整や共同アンテナについてはアンテナ側メーカー・アンテナ設置業者・共聴システム管理者等にお問合せください。(アンテナに関するサポートは行っておりません)

※付属品の簡易アンテナは受信力が強い物ではありません。

「付属のアンテナで視聴できない」場合、受信力の強く安定するアンテナをご利用ください。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A（電源／リモコン）

・ 電源が入らない ・ 急に電源が落ちた	・ 電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.11）
・ リモコンが効かない	・ リモコンの電池を交換してください。（P.10） ・ 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（P.10） （注）リモコンと本体の間に障害物があると操作が効きません。

Q&A（視聴・再生）

・ 映像も音声も出ない	・ 入力ソースをご確認ください。 →モード切替（P.13） ・ 電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.11） ・ テレビ視聴の場合、アンテナの接続をご確認ください（P.26）
・ 音声がでない	・ 消音状態になっていませんか？ ・ イヤホン端子に機器が接続されていませんか？ ・ 外部機器と正しく接続されていますか？（P.13）
・ 映像にノイズが出る ・ 画面に斑点や線 ・ 音声に異音が混ざる ・ 音声が乱れる ... など	・ 「高圧線」「ネオン」「他の電子機器」などから電波（磁気）干渉が起きている可能性があります。本機を電波（磁気）の影響が低い場所に移動してご利用ください。 ・ テレビ視聴の場合、アンテナの場所や方向をご確認ください。アンテナ受信レベルの確認（P.29）
・ 縦線状の妨害が出て見えない	・ 本機の端子部分および内部基盤への妨害電波やノイズの影響が考えられます。テレビ視聴の場合はアンテナの高さや方向を調整するとある程度抑えることが出来ます。アンテナ・接続ケーブル・端子部分をご確認ください。 ・ 本機の端子部分が外部機器やその他電子機器と近接している場合、設置場所を移動してください。
・ 色が薄く見える ... など	・ 機器設定をご確認ください。（P.14） ・ 外部機器との接続をご確認ください（P.13） ・ 旧アナログ放送時の再放送番組をご視聴される場合、その画像は著しく悪く見えることがあります。

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A（テレビ受信）

・フルセグサービスで番組視聴ができない	・ B-CAS カードをご確認ください。(P.25) ・ アンテナの設置場所や方向をご確認ください。 ・ アンテナ受信レベルをご確認ください。(P.29) ・ 放送サービスの優先度をご確認ください。 →テレビモード設定メニュー→受信切替 (P.33)
視聴できなくなった (引越しなど)	・ 本機の設置場所を他の地域に移動させた場合、改めてその地域で視聴（受信）可能な放送局（CH）の登録が必要です。(P.27 ～)
・ 番組視聴中に 「映像」「文字情報」 「番組内の時刻表示」 がズレる	・ デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため電波の受信から映像化されるまでの時差により数秒程度ズレて表示する場合があります。

Q&A（録画・外部メディア）

・ 番組の録画ができない ・ メディアプレーヤーが利用できない	・ 入力ソースをご確認ください。 →モード切替 (P.13) ・ 録画に関する機能の利用やメディアプレーヤーソフトの利用には別途市販品等の外部メディアが必要です。(P.15) ※メディアのフォーマット仕様・空き容量などにご注意ください。 ・ テレビ番組録画を行う場合、側面 USB ポートに録画用のメディアを設置してください。 (背面USB には TV 番組の録画はできません) ・ メディアプレーヤーソフトをご利用の場合、メディアに保存されたデータの形式等をご確認ください。(P.40)
--	---

その他の症状が起きた場合 ...

- ・ その他症状が起きた場合、本体システムの初期化を行ってください。
〈機器設定メニュー：P.14〉〈テレビモード設定メニュー：P.33〉

本体サイズ / 重量	182 × 164 × 100 mm / 約 1.0 kg
電源	AC100 ～ 240 V 50/60 Hz
消費電力	53 W
光源 / 寿命	LED / 約 30,000 時間
明るさ	170 ANSIルーメン
投影サイズ	30 ～ 180 インチ
推奨投影距離	1 ～ 5 m
解像度	1920*1080 サポート
アスペクト比	16:9 / 4:3
ズーム / フォーカス	手動調整
台形補正	手動調整 (±15°)
運転音	47 dB
スピーカー	3 W × 1
端子	電源入力・HDMI 入力・AV 入力・イヤホン出力・アンテナ入力 USB2.0 ポート(側面/背面)・miniB-CAS スロット
推奨設置環境	周辺温度：0 ～ 40℃ ※結露なきこと
【DVD/CDプレーヤー】	
対応フォーマット	DVDビデオ, DVD-R/RW(CPRM/VR対応), 音楽CD, CD-R/RW
【地デジチューナー】	
受信チャンネル (*1)	地上デジタル放送 (UHF / 物理 CH : 13 ～ 62)
EPG 番組ガイド	8 日
【メディアプレーヤーソフト】	
再生可能	【静止画】 : JPEG, BMP (画像サイズ 1280*720pix まで)
ファイル保存形式	【音楽】 : MP3, WMA, WAV
(*2)	【動画】 : MP4, MPEG-PS, WMV, AVI
	【テキスト】 : TXT

【付属品】 ・レンズカバー(本体に装着)・リモコン(試用電池付)・電源接続コード・TV受信用簡易アンテナ(詳細 P.7) ・AV接続ケーブル・ミニ三脚スタンド・miniB-CASカード・製品保証書・(本書)

(*1) CATV からの地デジ波伝送はパススルー方式のみ対応 / ネット回線による地デジ受信環境は非対応
(*2) 上記形式のファイルでも保存サイズやコーデックエラー等により再生できない場合があります。

その他（各種注釈や免責など）

液晶パネルについて

- 液晶パネルは高精度の技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素がありますが、故障ではありませんので予めご了承ください。

ブロックノイズについて

- 機器の演算処理能力を超えたデータの再生や重複操作によりブロックノイズが発生する場合があります。ブロックノイズは映像の記録方式（MPEG）の性質上、完全に除去することはほぼ不可能です。またディスクの記録面の汚れやキズ、機器側のディスク読取りレンズ部分の汚れやキズもブロックノイズ発生の原因となります。ディスクやレンズの汚れは市販のクリーナーなどを利用して取り除いてください。

コピーコントロール CD について

- CCCD（コピーガード付き CD）は CD の標準規格に合致していないため、本機では再生できない場合があります。CCCD の再生について支障がある場合、ディスク作成者（発売元）等にお問合せください。また標準規格外のディスクの使用を起因として機器の不具合や故障が発生した場合、無償保証の対象外となりますので予めご了承ください。

お手入れについて

- ディスク読取りレンズのクリーニング
レンズ部が汚れるとディスクを正しく読み取れずに「音飛び」「画像の乱れやノイズ発生」など様々な症状が起こる場合があります。市販のレンズクリーナーを利用して汚れを取り除いてください。
- 結露
結露が発生した場合、ディスクや読取りレンズ部分に水滴がつき、ディスクを正しく読み取れずに様々な症状が起こる場合があります。また機器内部の基盤や配線や充電電池などに水滴がつくと電流がショートして不具合や故障の原因となる場合があります。
結露が発生した場合、機器やディスクについた水滴は柔らかい布などで拭き取ってください。また機器内部の乾燥のため、湿度の低い場所へ機器を移動させ暫く放置してください。
- 機器のお手入れ
簡易な汚れは柔らかい布などで乾拭きしてください。汚れがひどい場合、柔らかい布などに「中性洗剤を水で5～6倍に薄めた液体」を浸してよく絞ってから拭き取りってください。
その後必ず乾いた布で乾拭きしてください。
（注）アルコール・シンナー・強い酸性（アルカリ性）の洗剤は使わないこと
ケースや塗装の変形・変色・色落ちなどの原因となります
（注）お手入れ時は電源アダプターを外し主電源をオフ（切）にすること

その他（各種注釈や免責など）

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
（注）自治体により「燃えないゴミ」「資源ゴミ」「粗大ゴミ」「小型電気製品回収」など
取り扱い方法が異なりますのでご注意ください

免責について

- お客様（又は第三者）が本製品の使用によって生じた損害等について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
（誤使用により生じた故障・使用中の故障・その他の不具合事象等含む）
- 当社が関与しない機器（他メーカー機器やデータやソフト等）などとの組み合わせによる誤作動や故障やその他不具合などによって生じた損害等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
- 取扱説明書（本書）の記載事項を守らないことにより生じた損害や事故等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証書（別添）

- 本品付属品として製品保証書が同梱されています。お買い上げ販売店にて「お買い上げ日」「販売店情報」を正確にご記入いただき、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

「充電電池の交換」や「修理」をご依頼される場合

- 本書をお手元にご用意の上、当社お客様サポートセンターまで
「電話」「FAX」「E-MAIL」「当社ホームページ問合せフォーム」にてお問合せください。
お問合せ内容を確認の上、その内容に適したサポートをご案内させていただきます。

お客様サポートセンター



03-5670-0328

（電話受付時間：【平日】10:00～12:30 / 13:30～17:00）

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART.（アカート） サポートセンター
FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

保証規定

- 保証書（別添）に記載された「保証期間」において製品（本体）の故障や不具合が発生した場合、当社保証規定に準じて無料で修理等を行うことをお約束いたします。保証期間内に修理等をご依頼いただく場合、無料保証の対象であるかをご確認の上、「お客様サポートセンター（P.49）」までお問合せください。

- (1) 無料保証を受ける場合、「必要な情報が正しく記入された保証書（別添）」または「保証書に準ずる書類（購入店舗や日時を証する書類など）」をお手元にご用意の上、当社サポートセンターまでお問合せください。
(注) 当社サポートセンターにおいて「店舗名やご購入日時が確認できない」場合、無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- (2) 無料保証の対象は製品本体のみです。付属品（消耗品）は保証対象外です。
- (3) 下記のような場合、保証期間内であっても原則として有料対応となります。
 - 保証書（又は準ずる書類）のご提示が無い場合
 - 保証書に必要な情報が記入されていない場合
あるいは字句が書き換えられている場合
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷
 - ほこり、昆虫類等の侵入、火災、天変地異（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧などで生じた故障、損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用途など）で使用された場合の故障、損傷
 - 本製品以外を起因とする不具合や故障、損傷
 - ご使用に伴う摩耗や色あせなどの外観上の変形や不具合
 - 消耗品および付属品類の交換（修理）費用
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への輸送費用
- (4) 当規定による保証は日本国内においてのみ有効です。（Warranty void only Japan）

■ 修理等の対応サービスについて

- ※ 出張による修理や設置などのサービスは一切行っておりませんので予めご了承ください。
- ※ 故障や不具合に対する対応サービスが「新品（代替品含む）との交換」となった場合、次回以降の対応につきましてはすべて有料での対応とさせていただきます。
- ※ 当社と未取引の販売店（代理店を含む）でお買い上げいただいた場合、お買い上げ店での対応となる場合があります。
- ※ 個人間での売買（オークション等含む）や譲渡されたものは無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- ※ 修理対応を行う場合、機器内部のパーツ部品交換などの為、仕様等が若干変わる場合がありますので予めご了承ください。

型番：OT-TPJ200AK

長期間ご使用されていなかった場合、再度ご利用いただく際に点検をお願いいたします。



愛情点検

ご使用いただく前に ...

- 本体ケース（プラスチック部）に歪みや変形や割れなどはありませんか？
- ケーブル類に破損や断線や錆などはありませんか？
- その他の異常や故障が見つかった？

ご使用中やご使用後に ...

- 充電池に正しく充電が行われていますか？
- 充電池で駆動した場合の動作に異常はありませんか？
- 本体やアダプターが異常に熱くなる？ 異音や異臭がする？

（お願い） ● 上記のような場合、機器の故障や事故防止のため、

① アダプターをコンセントから外してください。 ② 本体の主電源をオフ（切）にしてください。

● ①／②の後、お客様サポートセンターまでご連絡ください。（修理や点検に要する費用なども合せてご案内いたします）

お客様サポートセンター

 **03-5670-0328**

（電話受付時間：【平日】 10:00 ～ 12:30 / 13:30 ～ 17:00）



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F

（株）アカート製品サポートセンター

FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL: support@akart.jp

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。